

目 次

【一般科目】（機械工学科・電気工学科・物質工学科・建設環境工学科）

教育課程	1-1	文学	第4学年	1-39	
基礎数学A	第1学年	1-2	文学	第4学年	1-40
基礎数学B	第1学年	1-3	文学	第4学年	1-41
物理	第1学年	1-4	社会科学特講I	第4学年	1-42
化学	第1学年	1-5	社会科学特講II	第4学年	1-43
英語I A	第1学年	1-6	体育	第4学年	1-44
英語I B	第1学年	1-7	英語	第5学年	1-45
英会話I	第1学年	1-8	英語	第5学年	1-46
国語	第1学年	1-9	英語	第5学年	1-47
人文・社会科学基礎I A	第1学年	1-10	人間科学特講	第5学年	1-48
人文・社会科学基礎I B	第1学年	1-11	体育	第5学年	1-49
保健・体育	第1学年	1-12	英会話II	第5学年	1-50
美術	第1学年	1-13	第2外国語II	第5学年	1-51
線形代数	第2学年	1-14			
微積分1	第2学年	1-15			
微積分2	第2学年	1-16			
物理	第2学年	1-17			
化学	第2学年	1-18			
英語A	第2学年	1-19			
英語B	第2学年	1-20			
国語	第2学年	1-21			
人文・社会科学概論A	第2学年	1-22			
人文・社会科学概論B	第2学年	1-23			
社会科学調査法	第2学年	1-24			
保健・体育	第2学年	1-25			
ミニ研究	第2学年	1-26			
微積分A	第3学年	1-27			
微積分B	第3学年	1-28			
英語C-1	第3学年	1-29			
英語C-2	第3学年	1-30			
国語	第3学年	1-31			
人文・社会科学演習A	第3学年	1-32			
人文・社会科学演習B	第3学年	1-33			
保健・体育	第3学年	1-34			
英語I-1	第4学年	1-35			
英語I-2	第4学年	1-36			
文学	第4学年	1-37			
文学	第4学年	1-38			

一般科目

目

次

一

一

平成19年度 学年別教育課程

【一般科目】その1

(機械工学科, 電気工学科, 物質工学科, 建設環境工学科)

授業科目		単位数	学年別					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	数学	基礎数学 A	3					
		基礎数学 B	3					
		線形代数		2				
		微積分 1		2				
		微積分 2		2				
		微積分 A			3			
	微積分 B			3				
	理科	物理		2	3			
		化学		3	2			
	外国語	英語 I A		3				
		英語 I B		2				
		英会話 I		1				
		英語 A			3			
		英語 B			2			
		英語 C-1				2		
		英語 C-2				2		
		英語 I -1					2 *	
		英語 I -2					2 *	
	英語						1	
国語	国語		3	3	2			
	文学					1		
人文社会	人文・社会科学基礎 I A		1					
	人文・社会科学基礎 I B		1					
	人文・社会科学概論 A			1				
	人文・社会科学概論 B			1				
	社会科学調査法			1				
	人文・社会科学演習 A				1			
	人文・社会科学演習 B				1			
	社会科学特講 I					1		
	社会科学特講 II					1		
人間科学特講						2		
保健体育	保健・体育		2	2	2			
	体育					1	1	
芸術	美術		1					
ミ	ニ			1				
研								
開設	単位小計		25	25	16	8	4	
選択科目	外国語	英会話 II					2	2者択一、「第2外国語II」の選択者は4年次で「第2外国語I」を受講のこと
		第2外国語 II					2	
	開設	単位小計					4	
開設	単位合計		25	25	16	8	8	
修得	可能単位数		25	25	16	8	6	

(注) *印は学修単位(高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位)

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
基礎数学A Basic Mathematics A	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	島袋 修
授業概要	2年生以降の数学の基礎となる数と式の計算、関数および、さまざまな図形の方程式について学習する。				
到達目標	①整式、分数式、無理式、複素数の計算ができる。 ②2次関数・べき関数・分数関数・無理関数・逆関数を理解し、そのグラフをかくことができる。 ③指数関数、対数関数を理解し、そのグラフをかくことができる。 ④点と直線・2次曲線・不等式と領域など式のあらかわす図形について理解し、計算に習熟する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1).				
履修上の注意	多くの問題に触れ自分の頭で考え手で計算する習慣をつけること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	整式の計算		整式の加法・減法・乗法		
第2週	整式の計算		因数分解		
第3週	整式の計算		整式の除法、剰余の定理と因数定理		
第4週	いろいろな数と式		分数式の計算		
第5週	いろいろな数と式		実数、平方根、複素数		
第6週	整式の計算、いろいろな数と式		演習問題		
第7週	前期中間試験				
第8週	2次関数		関数とグラフ		
第9週	2次関数		2次関数のグラフ、最大・最小		
第10週	2次関数		2次関数と2次方程式・不等式		
第11週	いろいろな関数		べき関数		
第12週	いろいろな関数		分数関数		
第13週	いろいろな関数		無理関数		
第14週	いろいろな関数		逆関数		
第15週	2次関数、いろいろな関数		演習問題		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	指数関数と対数関数		累乗根・指数の拡張		
第17週	指数関数と対数関数		指数関数		
第18週	指数関数と対数関数		対数関数 対数		
第19週	指数関数と対数関数		対数関数 常用対数		
第20週	点と直線		2点間の距離と内分点		
第21週	指数関数と対数関数、点と直線		演習問題		
第22週	後期中間試験				
第23週	図形と式		直線の方程式		
第24週	図形と式		2直線の関係		
第25週	図形と式		2次曲線 円の方程式		
第26週	図形と式		楕円		
第27週	図形と式		双曲線		
第28週	図形と式		放物線		
第29週	図形と式		2次曲線 2次曲線の接線		
第30週	図形と式		不等式と領域		
後期期末試験	実施する				
教科書	新訂 基礎数学 大日本図書				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、レポートや小テスト30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
物理 Physics	1	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	物・建: 道上 達広 機: 根本信行 電: 坂本 道夫
授業概要	運動とエネルギー、運動量について学ぶ。				
到達目標	①物理学の基本的な概念や原理・法則を理解すること。 ②物理学的な考え方を習得すること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1), (B-4).				
履修上の注意	小テストを頻繁に実施するので、副読本を参考に自学自習しておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験 後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期末試験	直線運動の速度(1) 直線運動の速度(2) 問題演習、ベクトル 直線運動の加速度 落体の運動(1) 落体の運動(2) 前期中間試験 落体の運動(3) いろいろな力(1) いろいろな力(2) 力のつりあい 運動の法則(1) 運動の法則(2) 摩擦等の抵抗を受ける運動 問題演習、実験 実施する 剛体(1) 剛体(2) 仕事 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー保存 後期中間試験 問題演習、実験 運動量と力積(1) 運動量と力積(2) 運動量保存則(1) 運動量保存則(2) 反発係数(1) 反発係数(2) 問題演習、実験 実施する	直線運動の速度、平均の速さ 瞬間の速さ、速度、相対速度 直線の速度、ベクトルの合成・分解 加速度、等加速度直線運動 自由落下、鉛直投射 水平投射 斜方投射 力、重力、面から受ける力、糸が引く力 弾性力、圧力、浮力 力の合成、作用・反作用 運動の法則、慣性の法則 運動方程式 静止摩擦力、動摩擦力 運動の法則、摩擦力 剛体、力のモーメント 偶力、重心 仕事、仕事の原理、仕事率 運動エネルギー、運動エネルギーと仕事の関係 位置エネルギー、弾性エネルギー、保存力 力学的エネルギー保存則 力学的エネルギー 運動量 運動量と力積の関係 直線運動における運動量保存則 平面運動における運動量保存則 弾性衝突、非弾性衝突 衝突による力学的エネルギー変化 運動量			
教科書	高等学校 物理I, II 数研出版, リードα 物理I, II -力学・熱力学編- 数研出版 チャート式 シリーズ 新物理I, II 数研出版				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テストや課題の総点を30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
化学 Chemistry	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	建: 内田 修司 機: 押手茂克、電: 青木寿博、物: 天野仁司
授業概要	中学校理科の基礎の上に、さらに進んだ化学的な方法で自然の事物・現象に関する問題を取り扱い、高専における専門教育の基礎となる基本的な概念や原理・法則を理解させるとともに、科学的な思考を修得させる。				
到達目標	①物質を構成する粒子とその結合のしかたを理解し、物質量の計算ができる ②気体と溶液の現象を理解し、気体の計算および濃度計算ができる ③化学反応には熱の出入りがあることを理解し、ヘスの法則を用いて熱量を計算できる。 ④酸・塩基の定義を理解し、中和の計算ができる ⑤酸化・還元の定義を理解し、酸化数を利用できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1)、(A-2)、(B-1)。				
履修上の注意	物質を構成している粒子やその結合など目に見えないものに対する概念を理解すること。化学反応、化学反応式の内容を理解するとともに、量的なものの捉え方ができるように心がけること。予習復習をしっかりとやること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	物質の構成	物質とその成分、純物質と混合物			
第2週	物質の構成粒子	原子、イオン、元素の周期律			
第3週	物質の構成	分子、結合			
第4週	復習	物質の構成について			
第5週	粒子の相対質量と物質量	原子量・分子量・式量、物質量、濃度 物質量と化学反応式			
第6週	復習	物質量			
第7週	前期中間試験				
第8週	復習	第1-7週目のまとめ、実験(化学反応の量的関係)			
第9週	物質の三態	拡散、三態の変化、ボイル・シャルルの法則、状態方程式(化学Ⅱ)			
第10週	気体	混合気体の圧力、実在気体(化学Ⅱ)			
第11週	復習と実験	気体について、実験(気体の分子量)			
第12週	化学平衡と溶液	平衡の考え方、溶解の仕組みと溶解度			
第13週	溶液(2)	飽和溶液、蒸気圧、化学平衡			
第14週	溶液(3)	濃度、希薄溶液(化学Ⅱ)			
第15週	復習	第9-14週目のまとめ			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	溶液(4)	コロイド溶液の性質			
第17週	復習	溶液の復習、実験(コロイド溶液)			
第18週	化学反応と熱化学方程式(1)	化学反応と熱の出入り			
第19週	化学反応と熱化学方程式(2)	熱化学方程式とヘスの法則			
第20週	化学反応と熱化学方程式(3)	熱化学方程式に関する演習			
第21週	化学反応の速さ	化学反応の速さ、触媒			
第22週	後期中間試験				
第23週	復習	第16-21週目のまとめ			
第24週	酸と塩基の反応(1)	酸と塩基、水の電離と水溶液のpH			
第25週	酸と塩基の反応(2)	中和反応			
第26週	酸と塩基の反応(3)	酸と塩基の復習、実験(中和滴定)			
第27週	酸化還元反応(1)	酸化と還元			
第28週	酸化還元反応(2)	酸化数、酸化剤・還元剤			
第29週	復習	酸化と還元について			
第30週	復習	第24-29週目のまとめ			
後期期末試験	実施する				
教科書	化学Ⅰ、化学Ⅱ、野村祐次郎他、数研出版、フォトサイエンス 化学図録(数研出版)、改訂『リードα化学Ⅰ(数研出版)』				
参考図書	新しい高校化学の教科書 左巻健男著(講談社)、理経大学受験化学Ⅰ、Ⅱの新研究 卜部吉庸(三省堂)				
評価方法	定期試験80%、実験レポート及び課題20%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 I A English IA	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 B	機・電: 鳥居 孝栄 物・建: 石原万里
授業概要	基礎的な単語、熟語、文法、構文の知識を身につけ、英文の内容を正しく読み取る力を養う。				
到達目標	①基礎的な単語の発音、意味を習得すること。 ②基礎的な文法、構文を理解すること。 ③辞書を使いながら、英文の大意を把握できるようになること。 ④基本的な英語による音声活動を行うことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	辞書を使って予習し、英文の内容を自分なりにとらえてくること。また復習として、単語、熟語、構文の定着に力を入れてほしい。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Lesson 1 You Can Change the World		文の種類 5文型 現在形、過去形、未来形 進行形 現在完了形 受動態 助動詞 can, must, may 助動詞 will, would, should 不定詞 動名詞 分詞の形容詞的用法 関係代名詞 who, which, that 関係代名詞 what 前期の総復習		
第2週	Lesson 1 You Can Change the World				
第3週	Lesson 2 Unique Sports				
第4週	Lesson 2 Unique Sports				
第5週	Lesson 2 Unique Sports				
第6週	Lesson 3 Alex the Parrot				
第7週	前期中間試験				
第8週	Lesson 3 Alex the Parrot				
第9週	Lesson 3 Alex the Parrot				
第10週	Lesson 4 Life Is so Good				
第11週	Lesson 4 Life Is so Good				
第12週	Lesson 5 Tofu:A World Favorite				
第13週	Lesson 5 Tofu:A World Favorite				
第14週	Lesson 5 Tofu:A World Favorite				
第15週	問題演習				
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	Lesson 6 The Great Journey		関係副詞 比較表現 It is...that... if 節、疑問詞節 疑問詞+不定詞 仮定法過去 未来進行形 I wish+仮定法過去 過去完了 未来完了 受動態の進行形、完了形 知覚動詞、使役動詞 分詞構文 後期の総復習		
第17週	Lesson 6 The Great Journey				
第18週	Lesson 6 The Great Journey				
第19週	Lesson 7 One Step Beyond				
第20週	Lesson 7 One Step Beyond				
第21週	Lesson 8 Are We Alone...?				
第22週	後期中間試験				
第23週	Lesson 8 Are We Alone...?				
第24週	Lesson 8 Are We Alone...?				
第25週	Lesson 9 Chagall				
第26週	Lesson 9 Chagall				
第27週	Lesson 9 Chagall				
第28週	Lesson 10 Soseki in London				
第29週	Lesson 10 Soseki in London				
第30週	問題演習				
後期期末試験	実施する				
教科書	UNICORN English Course I、市川泰男、文英堂				
参考図書					
評価方法	定期試験を70%、小テスト・課題等を30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 I B English IB	1	2 (60)	必修	通年 週 2 時間 B	機・電: 宮沢 泰彦 物: 大平 克己 建: 渡辺 洋太郎
授業概要	英語を正しく理解し英語で自分の考えを表現できるように、基礎的な英文法の習得をめざす。高校レベルの英文法について広く浅く1年間でひととおり目を通すことを主眼とする。				
到達目標	①文法の基礎的概念を理解し、英文の組み立てを構造的に把握できるようになる。 ②主要な構文を習得し、それを応用して英語で自分の考えを表現できるようになる。 ③日本語と英語の発想法や論理展開の型の違いについておおまかな理解を得る。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	予習の段階で参考書にざっと目を通し、教科書のExerciseの問題を自分なりに解いてから授業に臨むこと。復習では参考書のExerciseも積極的に解いて応用力を養う。参考書のTargetの例文は暗唱すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第 1週 第 2週 第 3週 第 4週 第 5週 第 6週 第 7週 第 8週 第 9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験 後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	英語のしくみ 時制(1)時制(2) 時制(Plus) 完了形(1) 完了形(2) 完了形(3) 前期中間試験 助動詞(1) 助動詞(2) 助動詞(Plus) 態 態(Plus) 不定詞(1) 不定詞(2) 不定詞(3) 実施する 不定詞(Plus) 動名詞 動名詞(Plus) 動名詞と不定詞 分詞(1) 分詞(2) 後期中間試験 分詞(Plus) 関係詞(1) 関係詞(2) 関係詞(3) 比較(1) 比較(2) 比較(Plus) 仮定法 実施する	英語の文の組み立て、肯定文・否定文・疑問文 現在形、現在進行形、過去形、過去進行形、未来の表現 予定/条件の表し方 現在完了形、完了形と過去形 経験、継続 完了・結果、経験を表す過去完了形 能力・可能、許可、義務・必要 望ましい行為、意志、依頼、推量 推量、過去の習慣、過去への後悔 受動態の基本、語順に注意する受動態 進行形・完了形の受動態、受動態の疑問文 名詞の用法、形容詞の用法 副詞の用法、意味上の主語、否定語の位置 動詞+名詞+不定詞、使役動詞、知覚動詞 自動詞に続く不定詞、完了形・受動態・進行形不定詞 動名詞の基本、動名詞の意味上の主語、否定語の位置 完了形・受動態の動名詞、動名詞の慣用表現 動名詞と不定詞の使い分け 形容詞用法、主語や目的語について述べる分詞 使役動詞、知覚動詞 分詞構文の基本形、否定語の位置と完了形の分詞構文 主格、目的格、所有格 whom, whichと前置詞の位置、what 関係副詞 where, when, why, how 原級を使う比較、比較級を使う比較 最上級を使う比較、最上級を使う表現 原級と比較級で最上級の意味を表す、各種の比較表現 条件を表す文と仮定を表す文、仮定法過去、仮定法過去完了			
教科書	Harvest English Grammar (Red Course) in 20 Lessons, 桐原書店編集部編著、桐原書店 ハーベスト総合英語、鈴木希明編著、桐原書店 (授業に持参するが主に参考書として使用する)				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テスト・課題等の総点を30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英会話 I English Conversation I	1	1 (30)	必修	通年 週1時間 C	機・電:アリソン 坂内 キャシー 物・建:アリソン, エリカ
授業概要	The primary focus of this course is spoken English. Students will use English in a variety of everyday situations. Written work will supplement these topics.				
到達目標	①Gain fluency in asking and responding to yes/no and wh-questions, and talking about their everyday lives and Japanese culture ②Gain fluency in expressing opinions with supporting reasons ③Develop their ability to make short presentations in English ④Improve their skill at listening for both general and specific information				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	授業中の言語活動に積極的に参加すること。自らコミュニケーションをしようとする態度を身につける努力をすること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Getting to know your teacher		Interviewing		
第2週	Getting to know each other		Interviewing, likes/dislikes		
第3週	Dates & Ordinal Numbers		Personal Information		
第4週	Personal information about classmates		Personal Information about Others		
第5週	Personal information about others		Favorites		
第6週	Favorites		Counters & Singular/Plural		
第7週	Likes and Dislikes		Greeting someone, ending a conversation		
第8週	Counters & Singular/Plural		Eating and drinking habits		
第9週	Wh-Questions		Movies, music, TV		
第10週	Can & Can't		abilities		
第11週	Prepositions of Place		Describing locations		
第12週	Sports		Giving opinions, sports		
第13週	Simple Present and Describing Things		Describing things, animal names		
第14週	Family		Asking and talking about family & relatives		
第15週	Telling Time		Telling time, numbers		
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	Jobs		Asking about work, occupations		
第17週	Parts of the Body		Parts of the body		
第18週	Making Comparisons		Making Comparisons		
第19週	Numbers		Numbers, math		
第20週	Present Progressive		Describing present actions		
第21週	Countries, Nationalities & Languages		Countries, nationalities, languages		
第22週	Directions Part 1: Asking and Giving Directions		Describing locations, giving and asking directions		
第23週	Directions Part 2: Directions Race		Consolidations of Unit 22		
第24週	Subway Directions		Giving subway directions		
第25週	Simple Past Tense Part 1: Questions		Talking about experiences		
第26週	Simple Past Tense Part 2: Telling a Story		Telling a story		
第27週	Present Perfect		Talking and asking about experiences		
第28週	Future: going to		Talking about future events		
第29週	Past Progressive		Talking about a specific point		
第30週	Describing & Defining Things		Describing and defining things, food, colors		
後期期末試験	実施しない				
教科書	Talk a Lot: Junior Senior (yellow cover); David Martin, EFL Press				
参考図書					
評価方法	平素の成績(小テスト、課題等)を100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
国語 Japanese	1	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	機・物・建: 高橋 宏宣 電: 中野 弘子
授業概要	近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。				
到達目標	①現代文においては、筆者の言おうとしていることを理解できるようにする。 ②古文・漢文においては、基本的な語彙や正確な文法の知識を身につけ、作品の大意を把握できるようにする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-3).				
履修上の注意	授業には必ず予習をして臨むこと。不明な語句がある場合は、自ら国語辞典・古語辞典・漢和辞典を引いて調べる習慣を身に付けること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	現代文:随想		『祝福』のことば		
第2週	現代文:評論1		「水の東西」		
第3週	古文		「田舎の児・・・」(『宇治拾遺物語』)		
第4週	古文		「後の千金のこと」(『宇治拾遺物語』)		
第5週	現代文:小説1		「羅生門」		
第6週	現代文:小説1		「羅生門」		
第7週	前期中間試験				
第8週	現代文:小説1		「羅生門」		
第9週	漢文		「五十歩百歩」		
第10週	漢文		「借虎威」		
第11週	漢文		「蛇足」		
第12週	現代文:評論2		「命はだれのものなのか」		
第13週	現代文:評論2		「命はだれのものなのか」		
第14週	現代文:評論2		「地球の有限性と人間」		
第15週	現代文:評論2		「地球の有限性と人間」		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	古文:随筆		「公世の二位のせうとに」(『徒然草』)		
第17週	古文:随筆		「ある者、子を法師になして」(『徒然草』)		
第18週	古文:随筆		「花は盛りに」(『徒然草』)		
第19週	古文:随筆		「花は盛りに」(『徒然草』)		
第20週	現代文:詩		「レモン哀歌」「およぐひと」		
第21週	現代文:詩		「骨」「崖」		
第22週	後期中間試験				
第23週	漢文:漢詩		「春暁」「登鶴鶴楼」ほか		
第24週	漢文:漢詩		「江南春」「涼州詞」		
第25週	漢文:漢詩		「登岳陽楼」ほか		
第26週	現代文:小説2		「富嶽百景」		
第27週	現代文:小説2		「富嶽百景」		
第28週	現代文:小説2		「富嶽百景」		
第29週	古文:物語		「芥川」(『伊勢物語』)		
第30週	古文:物語		「芥川」(『伊勢物語』)		
後期期末試験	実施する				
教科書	『国語総合』三省堂、『セレクト漢字検定5級-2級』桐原書店				
参考図書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典(各自用意すること)				
評価方法	定期試験の成績を80%、小テストや課題の総点を20%として総合的に評価する。				

授業科目名		学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学基礎IA Introduction to Humanities and Social Sciences IA		1	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	笠井 哲
授業概要	人生の諸問題を正しく判断できるようになるために、東西の源流思想(古代ギリシア哲学、キリスト教、仏教、中国思想)の基礎にある人間観、すなわち「倫理」を中心に、日本古代・中世の思想(神道と仏教)や青年心理学等についても学習する。					
到達目標	①日本古代・中世の歴史・思想・文化や青年心理学を学ぶことによって、各自アイデンティティを確立することができる。 ②東西の思想の源流にある哲学・倫理学・宗教だけでなく、文化や習慣等、広義の「倫理」的な事象を理解することができる。					
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5).					
履修上の注意	「倫理」という学問の性格上、知識を記憶するだけにとどまらずに、自分で考えて判断することが大切である。自分の問題として考えたことを、自分の言葉で表現(レポート)できるようにすること。					
授業計画	授業項目		理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験	倫理とは何か 人間とは何か 青年期の特徴 自己実現とは何か 日本の風土と文化 古代日本の歴史と思想 中世日本の歴史と思想 古代ギリシア哲学(1) 古代ギリシア哲学(2) キリスト教の成立と展開 イスラム教の成立と展開 仏教思想の成立 仏教思想の展開 中国思想の成立と発展 まとめ 実施する		倫理および倫理学に関するさまざまな定義 人間に関するさまざまな定義 モラトリアムとアイデンティティの意義 キャリア・ディヴェロップメントの意義 和辻哲郎の『風土』における思想の意義 古代の神々と清明心の意義 日本の仏教、特に鎌倉新仏教の意義 自然哲学者、ソフィスト、ソクラテス プラトン、アリストテレス、ヘレニズム イエス、パウロ、アウグスティヌスの思想 ムハンマドの思想の意義 仏陀(釈迦)の生涯と思想 小乗仏教と大乘仏教の思想的意義 儒家思想と道家思想の意義 青年心理学と倫理学を学ぶ意義			
教科書	哲学・倫理学概論、松島隆裕編、学術図書出版社; 哲学的思索への道、笠井貞他、文化書房博文社; 精選資料新倫理、令文社					
参考図書						
評価方法	定期試験の成績を75%、課題等の総点を25%として総合的に評価する。					

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学基礎IB Introduction to Humanities and Social Sciences IB	1	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	笠井 哲 木原 淳
授業概要	人生の諸問題を正しく判断できるようになるために、西洋近代(宗教改革、カント、功利主義等)の基本的な思想、すなわち「倫理」を学習する。それとともに、専門職業人に必要な「職業倫理(技術者倫理)」について学ぶ。さらに、現代の諸問題を考察する手法を学ぶ。				
到達目標	①西洋近代の哲学・倫理学・宗教だけでなく、文化や習慣等、広義の「倫理」的な事象を理解することができる。 ②①に基づいて、専門職業人の「職業倫理」、特に「技術者倫理」を確立し、さらに現代の諸問題を考察できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4). (A-5).				
履修上の注意	「倫理」という学問の性格上、知識を記憶するだけにとどまらずに、自分で考えて判断することが大切である。自分の問題として考えたことを、自分の言葉で表現(レポート)できるようにすること。				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	西洋近代の成立 科学技術思想の成立 生命倫理学とは何か? 環境倫理学とは何か? 職業倫理とは何か? 技術者倫理とは何か? 後期中間試験 技術者倫理の事例研究 嘘はなぜ悪いか? 誰を助けるべきか?—最大多数の最大幸福— 自分のモノならば何をしてもよいか?—所有の倫理— 金儲けは悪か?—資本主義の倫理— 公平な配分は可能か?—配分的正義の問題— 多数決は正しいか?—民主制の倫理— まとめ 実施する			ルネサンス、宗教改革、科学革命 ベーコンのイドラ論、デカルトの物心二元論 脳死と臓器移植、QOLと尊厳死 世代間責任倫理、持続可能な開発 伝統を踏まえた現代の職業倫理 内部告発、説明責任、製造物責任法 技術者倫理に関する事故・事件等の検討 カントの義務論、ベンサム功利主義 選好の順位、人格の尊厳 自殺、臓器売買、売春、J. S. ミルの加害原理 ウェーバーの資本主義論、リバタリアニズム 利益の配分、公平な税、ロールズの配分原理 価値相対主義、全員一致と少数意見 倫理を身につけた技術者として生きる	
教科書	技術者倫理、松島隆裕編、学術図書出版社; 哲学・倫理学概論、松島隆裕編、学術図書出版社; 哲学的思索への道、笠井貞他、文化書房博文社; 精選資料新倫理、令文社				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、課題等の総点を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
保健・体育 Health and Physical Education	1	2 (60)	必修	通年 週2時間 C	後期: 根本 昌樹 前期: 秋山 秀博
授業概要	心身の総合的な発達を目指し、基礎的、基本的な運動技術を習得する。現代社会における健康について心身の機能を中心に理解し、自らの健康を保持増進できる能力と態度を養う。				
到達目標	①各種運動の実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を目指す。 ②公正、協力、責任等の態度を育てる。 ③生涯を通じて継続的に運動ができる能力を養う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4).				
履修上の注意	基礎的な体力・技術トレーニングの際、事故のないよう特に授業前日の健康管理に努めること。また、健康上の問題点については、担当教官に必ず事前に申し出ておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	柔道	柔道受講の心得(オリエンテーション)、柔道場と柔道衣			
第2週	柔道	姿勢・組み方・体捌き・体の移動・崩し・受身			
第3週	柔道	受け身・練習の五原則・固技基本動作			
第4週	柔道	受身・膝車・支釣込足			
第5週	柔道	受身・打込・大腰・送足払			
第6週	柔道	受身・打込・投込・大内刈・小内刈・体落・背負投			
第7週	柔道	受身・打込・投込・大外刈・内股・払腰・袈裟固・崩袈裟固			
第8週	柔道	受身・打込・投込・肩固・上四方固・横四方固・縦四方固			
第9週	柔道	受身・打込・投込・投技連絡変化・投技乱取・固技乱取			
第10週	柔道	受身・投技乱取・固技乱取・ルール(審判法)の理解			
第11週	柔道	日本伝講道館柔道の歴史と思想			
第12週	柔道	固技試合(体重別) I			
第13週	柔道、水泳	固技試合(体重別) II、水中運動の特徴・安全に関する心構え・各種泳法 I			
第14週	柔道、水泳	簡易試合・柔道とJUDO、各種泳法 II			
第15週	柔道、水泳	講道館柔道「投の形」「柔の形」、時間泳			
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	体力テスト	屋内種目			
第17週	体力テスト	屋外種目			
第18週	陸上	ハードル走技術・測定			
第19週	陸上	三段跳の技術・測定			
第20週	陸上	ジャベリックスロー技術・測定			
第21週	陸上	3種目総合練習・測定			
第22週	バレーボール	パス・トス・サーブ練習			
第23週	バレーボール	スパイク・レシーブ練習			
第24週	バレーボール	フォーメーション・パスゲーム			
第25週	バレーボール	リーグ戦			
第26週	保健	体のつくりと働き(体幹・体肢・筋肉系・骨格系)			
第27週	保健	体のつくりと働き(循環器系・呼吸器系)			
第28週	保健	トレーニングの方法			
第29週	保健	運動技能の構造と練習法			
第30週	保健	現代社会におけるスポーツの意義と生涯スポーツの楽しみ方			
後期期末試験	実施する				
教科書	新保健体育、加賀谷・高石他、大修館				
参考図書	Active Sports 総合版、大修館、新保健ノート、大修館				
評価方法	実技評価・レポート・定期試験を60%、活動記録・課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
美術 Fine Arts	1	1 (30)	必修	前期 週2時間 C	高杉 和久 前期:機,電 後期:物,建,コ
授業概要	自分の手を動かして物事を判断する感性を養い、種々の対象物のデッサンの技術を学ぶ。				
到達目標	①美術の歴史を通して、人間の営みと自然のかかわり合いを考察できること。 ②社会人としての知性と教養を磨き工学技術者としての基礎となるデッサンの技術を身につけること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(E-2). (E-3). (E-4).				
履修上の注意	実技においては、自由な創造を第一義に考え、感性の解放をテーマに、楽しみながら創作する。 機械工学科と電気工学科は、前期に実施し、物質工学科と建設環境工学科は、後期に実施する。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	美術についての初歩の心構え ルネッサンス美術鑑賞 同上 教科書の勉強 同上 手のデッサン 立方体のデッサン 同上 ネジのデッサン 同上 車のデッサン 同上 未来の都市のデッサン 同上 学生の作品に対する総括的な講評 実施しない	平面と立体に関する描画方法等 同上 「手」をじっくり見ることにより観察力を養う。			
教科書	高校美術1、日本文教出版				
参考図書					
評価方法	平素の成績(作品・課題等)を100%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
線形代数 Linear Algebra	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	西浦 孝治 鈴木 正樹
授業概要	平面ベクトル、空間ベクトル、行列、行列式について学ぶ。				
到達目標	①平面ベクトルの和・差・内積が計算でき、それらが図形に応用できる。 ②空間ベクトルの計算でき、直線・平面・球の方程式を理解し、線形独立・線形従属の概念を把握できる。 ③行列の和・差・スカラー倍・積・転置・逆行列を計算でき、連立1次方程式を消去法や逆行列を用いて解くことができる。 ④行列式の計算ができ、図形的な意味を把握できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1).				
履修上の注意	予習・復習をかかさない。教科書の間・練習問題を必ず解き、自力でできなかった問題は解決しておくこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	ベクトル	平面のベクトル	ベクトル		
第2週	ベクトル	平面のベクトル	ベクトルの演算		
第3週	ベクトル	平面のベクトル	ベクトルの成分		
第4週	ベクトル	平面のベクトル	ベクトルの内積		
第5週	ベクトル	平面のベクトル	ベクトルの平行と垂直		
第6週	ベクトル	平面のベクトル	ベクトルの図形への応用		
第7週	前期中間試験				
第8週	ベクトル	空間のベクトル	空間座標		
第9週	ベクトル	空間のベクトル	ベクトルの成分		
第10週	ベクトル	空間のベクトル	内積		
第11週	ベクトル	空間のベクトル	直線の方程式		
第12週	ベクトル	空間のベクトル	平面の方程式		
第13週	ベクトル	空間のベクトル	球の方程式		
第14週	ベクトル	空間のベクトル	ベクトルの線形独立・線形従属		
第15週	演習		演習問題		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	行列		行列の定義、行列の和・差、数との積		
第17週	行列		行列の積		
第18週	行列		転置行列		
第19週	行列		逆行列		
第20週	行列		消去法		
第21週	行列		逆行列と連立1次方程式		
第22週	後期中間試験				
第23週	行列式		行列式の定義		
第24週	行列式		行列式の性質		
第25週	行列式		行列式の展開		
第26週	行列式		行列の積の行列式		
第27週	行列式		正則な行列の行列式		
第28週	行列式		連立1次方程式と行列式		
第29週	行列式		行列式の図形的意味		
第30週	演習		演習問題		
後期期末試験	実施する				
教科書	新訂 線形代数、斎藤 斉・高遠 節夫 ほか4名、大日本図書 新編 高専の数学2問題集、田代嘉宏、森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験を70%、課題や小テストを30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
微積分1 Differential and Integral Calculus 1	2	2 (60)	必修	前期 週4時間 A	機・建 新井 広 電・物:山野 和一
授業概要	微分積分の基本的な概念, 基本的な関数の微分積分, そしてそれらの応用について学習する。				
到達目標	①基本的な極限計算ができる。 ②基本的な関数の微分ができる。 ③簡単な関数のグラフの概形がかける。 ④基本的な関数の積分ができ, 簡単な置換積分・部分積分ができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B)-1				
履修上の注意	予習・復習をし, 教科書・問題集の問題は自分で解き, 自力で出来なかった問題も解決しておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 微分法 関数の極限と導関数 第2週 " 第3週 " 第4週 微分法 色々な関数の導関数 第5週 " 第6週 微分法の応用 関数の変動 第7週 前期中間試験 第8週 微分法の応用 関数の変動 第9週 " 第10週 積分法 定積分と不定積分 第11週 " 第12週 " 第13週 積分法 積分法の計算 第14週 " 第15週 演習 前期期末試験 実施する		関数の極限, 関数の連続 微分係数, 導関数 導関数の公式, 合成関数の微分法 三角関数の導関数 逆三角関数, 指数関数・対数関数の導関数 平均値の定理, 関数の増減と極値 関数の最大・最小, 接線と法線, 不定形の極限 高次導関数, 関数の凹凸 定積分の定義と性質 不定積分, 定積分の計算 不定積分の置換積分, 定積分の置換積分 部分積分 演習			
教科書	新訂 微分積分I 高遠節夫・斎藤斉 ほか4名 大日本図書, 新編 高専の数学2問題集 田代嘉宏 森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%, 小テストや課題を30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
微積分2 Differential and Integral Calculus 2	2	2 (60)	必修	後期 週4時間 A	機・建 新井 広 電・物:山野 和一
授業概要	微分積分の基本的な概念, 基本的な関数の微分積分, そしてそれらの応用について学習する.				
到達目標	①置換積分・部分積分を利用する積分計算ができる. ②積分を利用して面積, 長さ, 体積などを計算することができる. ③媒介変数や極座標の考え方を理解し, 微分積分の計算に利用できる. ④広義積分や数値積分の簡単な計算ができる.				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B)-1				
履修上の注意	予習・復習をし, 教科書・問題集の問題は自分で解き, 自力で出来なかった問題も解決しておくこと.				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	積分法 積分の計算 # 積分の応用 面積・曲線の長さ・体積 # # # # 後期中間試験 微分・積分の応用 # # 演習 微分・積分の応用 # # 演習 実施する		置換積分・部分積分 分数関数・無理関数の積分, 三角関数の積分 図形の内積 曲線の長さ 立体の体積 回転面の面積 媒介変数表示と微分法 媒介変数表示による図形と積分 極座標による図形 速度と加速度, 変化率と積分 広義積分 数値積分		
教科書	新訂 微積分I 高遠節夫・斎藤斉 ほか4名 大日本図書, 新編 高専の数学2問題集 田代嘉宏 森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%, 小テストや課題を30%として総合的に評価する.				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
物理 Physics	2	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	機・物: 鈴木 三男 電・建: 坂本道夫
授業概要	力学、熱力学、波動や現代物理学の基礎を学ぶ。				
到達目標	①物理学の基本的な概念や原理・原則を理解すること。 ②物理学的な考え方を習得すること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1), (B-4).				
履修上の注意	問題集の問題も自分で解けるように、教科書の予習・復習をきちんとすること。				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
前期 第1週	円運動と万有引力(1)			等速円運動	
第2週	円運動と万有引力(2)			慣性力	
第3週	円運動と万有引力(3)			単振動	
第4週	円運動と万有引力(4)			万有引力、問題演習	
第5週	いろいろなエネルギー(1)			熱と温度	
第6週	いろいろなエネルギー(2)			熱と仕事	
第7週	前期中間試験				
第8週	いろいろなエネルギー(3)			電気とエネルギー、エネルギー変換と保存、問題演習	
第9週	熱と物質の状態(1)			物質の状態、気体の法則	
第10週	熱と物質の状態(2)			気体の分子運動	
第11週	熱と物質の状態(3)			気体の内部エネルギーと比熱、問題演習	
第12週	波の性質(1)			波の伝わり方と種類	
第13週	波の性質(2)			重ね合わせの原理と波の干渉	
第14週	波の性質(3)			波の反射・屈折・回折(1)	
第15週	波の性質(4)			波の反射・屈折・回折(2)、問題演習	
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	音(1)			音の伝わり方	
第17週	音(2)			発音体の振動と共鳴・共振	
第18週	音(3)			ドップラー効果、問題演習	
第19週	光(1)			光の性質、光の進み方	
第20週	光(2)			レンズ	
第21週	光(3)			光の干渉と回折(1)	
第22週	後期中間試験				
第23週	光(4)			光の干渉と回折(2)、問題演習	
第24週	電気と磁気(1)			静電気力、電場、電位、問題演習	
第25週	電気と磁気(2)			磁場、ローレン力、電磁誘導、交流、問題演習	
第26週	原子(1)			電子	
第27週	原子(2)			光の粒子性、粒子の波動性	
第28週	原子(3)			原子の構造とエネルギー単位	
第29週	原子と原子核(1)			原子核、放射線とその性質	
第30週	原子と原子核(2)			核反応と核エネルギー	
後期期末試験	実施する				
教科書	高等学校 物理 I、II 数研出版、リードα 物理 I II 力学熱力学編チャート式シリーズ 新物理 I・II (ここまで1年次購入済み) リードα 物理 I II 波電磁気原子編(2年次購入)				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テストや課題の総点を30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
化学 Chemistry	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	物: 内田 修司 機: 梅澤洋史, 電: 柴田公彦, 建: 羽切正英
授業概要	化学的な事象・現象について基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。				
到達目標	①イオン化傾向やファラデーの法則を理解し、現象の説明と計算ができる。 ②典型金属元素と遷移金属元素を理解し、それぞれの分類や性質を説明できる。 ③有機化合物の分類を理解し、各グループの性質が説明できる。 ④有機化合物の構造を理解し、各異性体の構造を書くことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (B-1).				
履修上の注意	物質の性質、製法、利用法について、身近な生活の例に照らし合わせて理解することが大切である。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	酸化還元反応 1		酸化と還元、酸化数、酸化剤・還元剤		
第2週	酸化還元反応 2		金属のイオン化傾向		
第3週	復習		酸化と還元について 酸化還元の実験		
第4週	電池 1		電池の原理、ダニエル電池		
第5週	電池 2		鉛蓄電池、実用電池の例		
第6週	復習		電池について、第1週から第5週のまとめ		
第7週	前期中間試験				
第8週	電気分解		ファラデーの法則、電気量		
第9週	元素の分類と性質		アルカリ金属元素とアルカリ金属元素		
第10週	実験		アルカリ金属元素の実験		
第11週	元素の分類と性質2		金属と非金属		
第12週	元素の分類と性質3		ハロゲン元素と希ガス元素		
第13週	元素の分類と性質4		遷移元素について		
第14週	復習		周期表と元素の性質		
第15週	復習		第8週から14週のまとめ		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	有機化合物の分類と分析		有機化合物の特徴と分類、分析		
第17週	有機化合物の分析と脂肪族炭化水素 1		分析、アルカン、構造異性体		
第18週	脂肪族炭化水素 2		アルカン、構造異性体と立体異性体、シクロアルカン		
第19週	脂肪族炭化水素 3		アルケン、シクロアルケン、アルキン、幾何異性体		
第20週	復習		有機化合物の分類について		
第21週	復習		第16週から21週のまとめ		
第22週	後期中間試験				
第23週	アルコールと関連化合物 1		アルコールとエーテル、		
第24週	アルコールと関連化合物 2		アルデヒドとケトン		
第25週	アルコールと関連化合物 3		脂肪族カルボン酸と酸無水物		
第26週	アルコールと関連化合物 4		エステルと油脂		
第27週	復習		アルコールとその関連化合物		
第28週	芳香族化合物		芳香族炭化水素と関連化合物		
第29週	復習		芳香族化合物		
第30週	復習		第23週から29週のまとめ		
後期期末試験	実施する				
教科書	化学Ⅰ、野村祐次郎他、数研出版； 化学Ⅱ、野村祐次郎他、数研出版； 問題集ニューグローバル 化学Ⅰ＋Ⅱ、東京書籍				
参考図書	ビジュアルワイド 図説化学 東京書籍、化合物命名法 日本化学会、理系大学受験の化学Ⅰ、Ⅱの新研究 ト 部由庸 三省堂				
評価方法	定期試験80%、実験レポート10%、小テスト及び課題10%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語A English A	2	3 (90)	必修	通年 週3時間 B	機・物・建: 西山 公紀 電: 坂内 昌徳
授業概要	語彙、文法、構文、発話の知識を向上させ、読み、聞きした英語の内容を理解し、情報や考えを英語で伝える基礎的能力を養う。				
到達目標	①英語の文章を正しく音読できる。 ②英語の文章が伝えようとする内容を正しく理解できる。 ③使用されている語彙、文法、構文が理解できる。 ④習得した英語表現を用いて簡単な発話ができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	(1)辞書を用いてテキストの予習をして授業に臨むこと。 (2)習得した発音、語彙、文法、構文等を定着させること。 (3)テキストの音読に力を入れること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験 後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	Lesson 1 How the Olympics Began Lesson 1 How the Olympics Began Lesson 2 Tricks of the Mind Lesson 2 Tricks of the Mind Lesson 3 All the Good Things Lesson 3 All the Good Things 前期中間試験 Acting out - White Lion Lesson 4 What's the Trouble? Lesson 4 What's the Trouble? Lesson 5 Living with Movies - Toda Natsuko Lesson 5 Living with Movies - Toda Natsuko Lesson 6 The Heart of Cambodia - Angkor Wat Lesson 6 The Heart of Cambodia - Angkor Wat 問題演習 実施する Lesson 7 Smart Guessing Lesson 7 Smart Guessing Lesson 8 Miho Takes a Psychological Quiz Lesson 8 Miho Takes a Psychological Quiz Lesson 9 The Greatest Challenge of the 21th C Lesson 9 The Greatest Challenge of the 21th C 後期中間試験 Listening In - Crash Lesson 10 Doctors to the World Lesson 10 Doctors to the World Lesson 11 One Language or Many Lesson 11 One Language or Many Looking for Information Looking for Information 問題演習 実施する	授業の進め方、予習方法等 分詞構文、前置詞+関係代名詞、過去完了進行形 S + V (be)+ C(=that 節)、関係代名詞の非制限用法 関係副詞why、形容詞+to-不定詞、no matter where 関係副詞how、形式目的語、集合名詞 get used to doing / I wonder how ... Here I come / get down on all four I'm glad that ... / I'm depressed about ... That's too bad / I know how you fell / Thanks for 助動詞+have+過去分詞、完了分詞構文 未来進行形、名詞構文、It was not until ... that 仮定法過去、S + V + O + C(過去分詞) S + seem + to-不定詞、S + V (=be以外) + C 前期の総復習 関係副詞の非制限用法、完了不定詞 仮定法現在、無生物主語 確かさの度合いを伝える表現 I'm convinced that ... / It is certain that ... 動名詞の意味上の主語、未来完了、-everの付く語 倍数を表す構文、Without ... スキットを聞き、話の展開や登場人物について把握す 句と節、to-不定詞の受け身 make sure that ... / those who ... 賛成する・反対する表現、意見を述べる I agree with .. / I don't think / In my opinion 図表を読み取る 数量の比較・変化を読み取る 後期の総復習			
教科書	POLESTAR English Course II、橋内武、数研出版、生徒用CD POLESTAR English Course IIペーシクノート、橋内武、数研出版、				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テスト・課題等を30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語B English B	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	電: 西山 公紀 機・建: 大平 克己, 物: 石原 万理
授業概要	英語を正しく理解し、英語で自分の考えを表現できるように基礎的な英文法の習得をめざす。				
到達目標	①関係詞の使い分けができる。 ②仮定法過去と仮定法過去完了の違いが理解できる。 ③各前置詞の意味を理解し、その用法が理解できる。 ④従属接続詞を用いた構文の意味が理解できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4), (F-5), (F-6).				
履修上の注意	テキストの基本例文を習得することに努力するとともに、練習問題を積極的に解くことによって、応用力を養うようにする。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	比較(3)		比較に関する重要表現		
第2週	関係詞(1)		関係代名詞 who, which, that, what		
第3週	関係詞(2)		関係代名詞が前置詞の目的語となる場合		
第4週	関係詞(3)		関係代名詞の制限用法と継続用法		
第5週	関係詞(4)		関係副詞 when, where, why, how		
第6週	関係詞(5)		複合関係詞 whoever, whatever, whenever		
第7週	前期中間試験				
第8週	仮定法(1)		仮定法過去、仮定法過去完了		
第9週	仮定法(2)		願望を表す用法、仮定法の重要表現		
第10週	仮定法(3)		If節に変わる表現、未来のことを仮定する表現		
第11週	話法(1)		時制の一致		
第12週	話法(2)		直接話法、間接話法		
第13週	話法(3)		注意すべき話法の転換		
第14週	否定		様々な否定、部分否定、二重否定		
第15週	問題演習		前期の総復習		
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	強調・倒置・省略		強調表現、倒置表現、省略表現		
第17週	無生物主語・名詞構文		無生物主語構文によく使われる動詞、名詞構文		
第18週	名詞		名詞の種類、名詞の複数形、名詞の所有格		
第19週	冠詞		定冠詞、不定冠詞、無冠詞		
第20週	代名詞(1)		人称代名詞、指示代名詞		
第21週	代名詞(2)		不定代名詞、その他の注意すべき代名詞		
第22週	後期中間試験				
第23週	形容詞		形容詞の用法、数量を表す形容詞		
第24週	副詞		副詞の用法、注意すべき副詞の用法		
第25週	前置詞(1)		基本的な前置詞の用法(場所)		
第26週	前置詞(2)		基本的な前置詞の用法(時間)		
第27週	前置詞(3)		基本的な前置詞の用法(目的、原因、手段等)		
第28週	接続詞(1)		等位接続詞、名詞節を導く等位接続詞		
第29週	接続詞(2)		副詞節を導く等位接続詞		
第30週	問題演習		後期の総復習		
後期期末試験	実施する				
教科書	DUAL SCOPE English Grammar in 45 Stages、小寺茂明監修、数研出版 デュアルスコープ総合英語、小寺茂明監修、数研出版				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を70%、小テスト・課題等の総点を30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
国語 Japanese	2	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	機・電・物: 高野 克宏 建: 蛭田 徹
授業概要	近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。				
到達目標	①近現代の優れた文章や古典作品に親しむ。 ②正確な語彙・文法の知識を身につける。 ③読解力を高め、作品を批評・鑑賞することができるようにする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3).				
履修上の注意	授業で扱う作品を予め読み、不明なことばがあれば辞書で調べ、文意を自分なりに解釈して授業に臨むこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	現代文(評論)	「身体の想像力」			
第2週	現代文(評論)	「身体の想像力」			
第3週	古文(軍記)	「平家物語」			
第4週	古文(軍記)	「平家物語」			
第5週	古文(軍記)	「平家物語」			
第6週	漢文(史話)	「臥薪嘗胆」			
第7週	前期中間試験				
第8週	漢文(史話)	「臥薪嘗胆」			
第9週	漢文(史話)	「鶏鳴狗盗」			
第10週	現代文(評論)	「美を求める心」			
第11週	現代文(評論)	「美を求める心」			
第12週	現代文(評論)	「美を求める心」			
第13週	古文(歌物語)	「伊勢物語」			
第14週	古文(詩歌)	「奥の細道」			
第15週	古文(詩歌)	「奥の細道」			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	現代文(随想)	「迷う犬」			
第17週	現代文(随想)	「迷う犬」			
第18週	古文(説話)	「宇治拾遺物語」			
第19週	古文(説話)	「宇治拾遺物語」			
第20週	現代文(小説)	「城の崎にて」			
第21週	現代文(小説)	「城の崎にて」			
第22週	後期中間試験				
第23週	漢文(小話)	「先從隗始」			
第24週	漢文(小話)	「不死之薬」			
第25週	現代文(評論)	「ミロのヴィーナス」			
第26週	現代文(評論)	「ミロのヴィーナス」			
第27週	現代文(詩歌)	「忘れた」「一つのメルヘン」			
第28週	古文(随筆)	「枕草子」			
第29週	古文(随筆)	「枕草子」			
第30週	古文(随筆)	「徒然草」			
後期期末試験	実施する				
教科書	前期:『精選国語総合』、東京書籍 後期:『精選現代文』『精選古典』、東京書籍、『常用漢字の級別学習』				
参考図書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典(各自で用意すること)				
評価方法	定期試験の成績を80%、小テストや課題の総点を20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学概論A Invitation to Humanities and Social Science A	2	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	川崎 俊郎
授業概要	経済活動を理解する上で必要な基礎的な考え方を教授する				
到達目標	①3つの経済主体の特徴とその行動を理解する ②市場原理の基礎を理解する ③財政政策・金融政策の基礎を理解する				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4), (A-5).				
履修上の注意	授業は配布プリントを中心に進めるので、なくさずに必ずファイルすること。また課題・レポートは期限・様式などを厳守すること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	経済のしくみ 企業活動1 企業活動2 家計の行動 市場経済の仕組み1 市場経済の仕組み2 市場経済の仕組み3 市場の失敗1 市場の失敗2 政府の役割 財政政策 金融政策 国民経済 景気変動 経済を見る眼 実施する		3つの経済主体、市場経済、経済政策、景気循環 企業の形態、企業の行動原理、企業活動を支える要素 日本の企業、国際化と企業、企業と経営戦略 家計の3側面、消費者・労働力・貯蓄者 D-S曲線の概要、D曲線のでき方、D曲線のシフト S曲線のでき方、S曲線のシフト、特殊なD-S曲線 D-S曲線の均衡、均衡点の異動、均衡点の計算 独占と寡占、寡占の諸形態、許される独占 外部経済と不経済、公害、政府の介入 財政政策、金融政策、国民経済モデルと政府 税の構造、財政政策とその効果 中央銀行と通貨制度、3つの金融政策 GNP、GDP、国民所得、経済成長 景気変動の概要、景気変動が起きる仕組み 授業の総まとめ		
教科書					
参考図書					
評価方法	定期試験を75%、課題を25%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学概論B Invitation to Humanities and Social Science B	2	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	木原 淳
授業概要	高校課程「政治経済」の、政治と憲法に関わる部分を説明する。				
到達目標	現代日本の社会と政治、及び国際社会についての基本的な知識を習得する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4), (A-5).				
履修上の注意	指定された次回の授業範囲部分を下読みし、分からない語句を調べておくこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	民主制の歴史 各国の政治制度 日本国憲法の基本原理 日本国の統治機構① 日本国の統治機構② 基本的人権の保障① 基本的人権の保障② 現代日本の政治① 現代日本の政治② 国際社会① 国際社会② 国際政治の動向① 国際政治の動向② 日本の安全保障① 日本の安全保障② 実施する		自然法論と社会契約説 大統領制、議院内閣制 国民主権と天皇、平和主義 国会、内閣 司法、地方自治 法の下での平等、自由権 社会権、新しい人権 政党政治 選挙制度、マスコミと政治 国際社会の成立、国際法 国際連合のしくみ、安全保障 第二次大戦、冷戦期の動向 冷戦後の状況 湾岸戦争 自衛隊の成立 PKO 集団的安全保障		
教科書	配布プリント				
参考図書	配布資料				
評価方法	定期試験を75%、課題を25%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
社会科学調査法 Social Science Reserch Methods	2	1 (30)	必修	後期 週2時間 C	川崎 俊郎 笠井 哲, 吉村 忠晴, 木原 淳
授業概要	社会科学分野を中心にレポート・論文作成に必要な資料検索・加工・分析の考え方や技能を学習する。あわせてレポート・論文作成時に最低限守るべきルールも学習する。				
到達目標	①授業を受講し、試験や自学自習に使えるノートが作れるようになる ②文献や資料の検索と収集が自分で行えるようになる ③収集した文献の要約やデータ解析の技能を身につける ④自分で調査した内容をレポートにまとめられるようになる ⑤自分で調査した内容を第三者に発表できるようになる				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-3), (A-4), (D-2), (D-3), (F-2), (F-3).				
履修上の注意	各種の資料と調査方法は、それぞれの目的に応じて作られていることを理解しておくこと。また課題などによって成績を評価するので、期限を厳守し、様式などを指示通りに提出すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	話を聞き、ノートをとる1 話を聞き、ノートをとる2 資料の検索と収集1 資料の検索と収集2 文章を読む1 文章を読む2 問題解決の思考法 データを分析する1 データを分析する2 データを分析する3 レポートを書く1 レポートを書く2 レポートを書く3 調査とレポート作成時のルール 総合演習 実施しない	講義の内容をメモにする、話者の主張を理解する ノート整理ができる、講義をまとめられる 資料収集の手順、資料検索の手段 資料検索の実行、文献リストの作成 要点を見つける、要点の根拠を示す 文章の要約 論理的思考、因果関係 統計数値の基礎、統計数値の入手・利用方法 統計数値の計算 統計数値を利用したグラフの作成 テーマの決め方、レポート・論文の構成 レポート・論文に使う文の書き方 根拠を示した記述、事実、引用、意見の区別 資料入手、引用、分析などのルール、書き手の倫理 レポート発表、授業全体の総復習とまとめ			
教科書					
参考図書	知のツールボックス、専修大学出版企画委員会編、専修大学出版会 レポート・論文・プレゼン スキルズ、石坂春秋、くろしお出版 大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術、菊田千春・北林利治、東洋経済新報社				
評価方法	レポートや課題の成績を100%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員	
保健・体育 Health and Physical Education	2	2 (60)	必修	通年 週2時間 C	前期: 根本 昌樹 後期: 秋山 秀博	
授業概要	心身の総合的な発達を目指し、基礎的、基本的な運動技術を習得する。現代社会における健康について心身の機能を中心に理解し、自らの健康を保持増進できる能力と態度を養う。					
到達目標	①各種運動の実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を目指す。 ②公正、協力、責任等の態度を育てる。 ③生涯を通じて継続的に運動ができる能力を養う。					
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).					
履修上の注意	基礎的な技術・体カトレーニングの際、事故のないように、とくに授業前日の健康管理に努めること。また健康上の問題点については、担当教官に必ず事前に申し出ておくこと。					
授業計画	授業項目	理解すべき内容				
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験 後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	陸上 陸上 陸上 陸上 陸上 バスケットボール バスケットボール バスケットボール バスケットボール バスケットボール サッカー サッカー 水泳 水泳 水泳 実施しない 体力テスト 体力テスト サッカー サッカー サッカー サッカー サッカー バスケットボール バスケットボール バスケットボール 保健 保健 保健 保健 保健 実施する	短距離の技術 ハードル走 跳躍技術 混成競技 混成競技 パス・キャッチ ドリブルショット パスゲーム パスゲーム ゲーム キック各種 ドリブル・ヘディング・シュート 水中運動の特性 各種泳法 時間泳・距離泳 屋内種目 屋内種目 キック各種、リフティング ドリブル、ヘディング、シュート パス&コントロール、簡易ゲーム ゲーム ゲーム ゲーム ゲーム ゲーム わが国の健康水準と病気の傾向 健康のとらえ方と適切な意思決定・行動選択 ヘルスプロモーションと健康21 日常の生活行動と生活習慣病 喫煙・飲酒・薬物乱用と健康				
教科書	新保健体育、加賀谷・高石他、大修館;新保健ノート、大修館					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館					
評価方法	実技評価、レポート、定期試験を60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。					

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
ミニ研究 Research Practice	2	1 (30)	必修	前期 週2時間 C	山野 和一 (但し、専攻科特別研究担当者を 除く)
授業概要	PDFファイルでご覧下さい。ミニ研究				
到達目標	①暗渠の働きを理解し、製作すること。 ②結果について発表することができること。				
教育目標 との対応	福島高専の教育目標との対応:(E-1), (E-2).				
履修上の注意	目に見えない暗渠の仕組みを理解し、役に立つ暗渠製作に意欲的に取り組むこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	暗渠について(1)		暗渠について調べる		
第2週	暗渠について(2)		暗渠の仕組み		
第3週	暗渠の実際		暗渠はどのようなところに役立っているか		
第4週	グラウンドの現状(1)		第一グラウンドの現状を調べる		
第5週	グラウンドの現状(2)		第一グラウンドの現状を調べる		
第6週	科学的調査(1)		科学的調査について		
第7週	科学的調査(2)		科学的に何を調べるか		
第8週	科学的調査(3)		測定装置について		
第9週	科学的調査(4)		実測		
第10週	暗渠の設計		設計について		
第11週	暗渠の製作(1)		暗渠の製作		
第12週	暗渠の製作(2)		暗渠の製作		
第13週	暗渠の製作(3)		暗渠の製作		
第14週	製作後の調査		グラウンドの変化を調べる		
第15週	発表準備		まとめ		
前期期末試験	実施する				
教科書	なし				
参考図書	なし				
評価方法	製作意欲、製作態度、発表内容を総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
微積分A Differential and Integral Calculus A	3	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	機・物 山野 和一 電・建: 亀井 宣男
授業概要	2重積分、ベクトル解析、複素関数について学習する。				
到達目標	①2重積分について理解し、計算に習熟する。 ②ベクトル関数、スカラー場とベクトル場について理解し、計算に習熟する。 ③線積分・面積分について理解し、計算に習熟する。 ④正則関数、複素積分について理解し、計算に習熟する。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1).				
履修上の注意	内容が豊富である。演習問題を数多く解くこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	2重積分	2重積分の定義			
第2週	2重積分	2重積分の計算			
第3週	2重積分	座標軸の回転			
第4週	変数の変換と重積分	極座標による2重積分			
第5週	変数の変換と重積分	変数変換、広義積分			
第6週	変数の変換と重積分	2重積分のいろいろな応用			
第7週	前期中間試験				
第8週	ベクトル関数	空間のベクトル			
第9週	ベクトル関数	外積			
第10週	ベクトル関数	ベクトル関数			
第11週	ベクトル関数	曲線			
第12週	ベクトル関数	曲面			
第13週	スカラー場とベクトル場	勾配			
第14週	スカラー場とベクトル場	発散と回転			
第15週	演習	問題演習			
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	線積分・面積分	線積分			
第17週	線積分・面積分	グリーンの定理			
第18週	線積分・面積分	面積分			
第19週	線積分・面積分	発散定理			
第20週	線積分・面積分	ストークスの定理			
第21週	線積分・面積分	問題演習			
第22週	後期中間試験				
第23週	正則関数	複素数			
第24週	正則関数	極形式			
第25週	正則関数	複素関数			
第26週	正則関数	正則関数			
第27週	正則関数	正則関数による写像			
第28週	正則関数	逆関数			
第29週	積分	複素積分			
第30週	演習	問題演習			
後期期末試験	実施する				
教科書	新訂 微分積分Ⅱ、高遠 節夫・斎藤 斉ほか4名、大日本図書 新訂 応用数学、高遠 節夫・斎藤 斉ほか4名、大日本図書 高専の数学3問題集、田代嘉宏、森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、課題30%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
微積分B Differential and Integral Calculus B	3	3 (90)	必修	通年 週3時間 A	電・建 新井 広 機・物:西浦 孝治
授業概要	偏微分・級数・微分方程式について学ぶ。				
到達目標	①2変数関数と偏微分の考え方を理解し、計算に習熟する。また関数の多項式近似を理解し計算に習熟する。 ②基本的な関数のテイラー展開とマクローリン展開ができる。また高次導関数について理解し計算に習熟する。 ③簡単な条件付極値問題を解くことができる。包絡線を求めることができる。変数分離形・同次形の微分方程式を解くことができる。 ④2階までの線形の微分方程式を解くことができ、既習のものに帰着できる基本的な微分方程式も解くことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-1), (B-2).				
履修上の注意	微分と積分の計算法に習熟しておくこと。また、単に形式的解法に終わることなく、基本概念や解法についての理解を深めるよう努めること。教科書の補章も随時学習する。完全微分方程式など教科書にないが従来取り扱われていた重要事項なども授業時間の余裕があれば学習する。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	偏微分		2変数関数		
第2週	"		偏導関数		
第3週	"		接平面		
第4週	"		合成関数の微分法		
第5週	関数の展開		多項式による近似		
第6週	問題演習				
第7週	前期中間試験				
第8週	関数の展開		数列の極限		
第9週	"		級数		
第10週	"		べき級数とマクローリン展開、オイラーの公式		
第11週	偏微分の応用		高次偏導関数		
第12週	"		多項式による近似		
第13週	"		極大・極小		
第14週	"		陰関数の微分法		
第15週	問題演習				
前期期末試験	実施する				
後期 第16週	偏微分の応用		条件付極値問題		
第17週	"		包絡線		
第18週	微分方程式		微分方程式の意味と解		
第19週	1階微分方程式		変数分離形		
第20週	"		同次形		
第21週	問題演習				
第22週	後期中間試験				
第23週	1階微分方程式		1階線形微分方程式		
第24週	2階線形微分方程式		線形微分方程式		
第25週	"		定数係数斉次線形微分方程式		
第26週	"		定数係数非斉次線形微分方程式		
第27週	"		いろいろな線形微分方程式		
第28週	"		線形でない2階微分方程式		
第29週	演習または発展		問題演習または完全微分方程式など		
第30週	演習または発展		問題演習または完全微分方程式など		
後期期末試験	実施する				
教科書	新訂 微分積分II、高遠 節夫・斎藤 斉ほか4名、大日本図書； 新編 高専の数学3 問題集、田代嘉宏、森北出版				
参考図書					
評価方法	定期試験70%、課題・小テスト等30%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語C-1 English C-1	3	2 (60)	必修	前期 週4時間 B	物・建 中山 悟視 機・電:宮澤泰彦
授業概要	テキストの購読とテキストを使った様々な活動, TOEICテスト対策トレーニングを平行して行う。				
到達目標	①TOEICの出題形式に慣れ、各自が得点力を向上させることができる。 ②テキストに使用されている語彙や構文が理解できる。 ③テキストが伝えようとする内容を理解できる。 ④習得した語彙・構文等を用いて、一定の英語表現(活動)を行うことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	テキストの英文の意味を理解した上で繰り返し音読し、多くの英文を自分の力で再現できるように努力すること。しっかりと復習をし、語彙・構文などの定着を図ること。TOEICにおいてより高い得点をとれるよう、英語力を養う努力を欠かさないこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 Lesson 1/ TOEIC演習1 第2週 Lesson 1/ TOEIC Listening & Reading 1-2 第3週 Lesson 1/ TOEIC Listening & Reading 3 第4週 Lesson 3/ TOEIC演習2 第5週 Lesson 3/ TOEIC Listening & Reading 4-5 第6週 Lesson 3/ TOEIC Listening & Reading 6 第7週 前期中間試験 / TOEIC演習3 第8週 Lesson 4/ TOEIC Listening & Reading 7-8 第9週 Lesson 4/ TOEIC Listening & Reading 9 第10週 Lesson 4/ TOEIC演習4 第11週 Lesson 4/ TOEIC Listening & Reading 10 第12週 Lesson 6/ TOEIC演習5 第13週 Lesson 6/ TOEIC 復習 第14週 Lesson 6/ TOEIC問題演習 第15週 Lesson 6/ TOEIC初中級コース中間テスト 前期期末試験 実施する		学習の仕方, 論説文の展開, 語彙・構文など 論説文の展開, 語彙・構文など 論説文の展開, 語彙・構文など 新聞記事の展開, 語彙・構文など 新聞記事の展開, 語彙・構文など 新聞記事の展開, 語彙・構文など 宣言文の展開, 語彙・構文など 宣言文の展開, 語彙・構文など 宣言文の展開, 語彙・構文など 宣言文の展開, 語彙・構文など 講演の展開, 語彙・構文など 講演の展開, 語彙・構文など 講演の展開, 語彙・構文など 講演の展開, 語彙・構文など			
教科書	1. CROWN ENGLISH READING 霜崎實著, 三省堂 2. 速読英単語・必修編, 風早寛, 増進会出版社				
参考図書					
評価方法	定期試験を70%, 小テスト・課題・授業中の作業等を30%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語C-2 English C-2	3	2 (60)	必修	後期 週4時間 B	物・建 中山 悟視 機・電:宮澤泰彦
授業概要	テキストの購読とテキストを使った様々な活動, TOEICテスト対策トレーニングを平行して行う。				
到達目標	①TOEICの出題形式に慣れ、各自が得点力を向上させることができる。 ②テキストに使用されている語彙や構文が理解できる。 ③テキストが伝えようとする内容を理解できる。 ④習得した語彙・構文等を用いて、一定の英語表現(活動)を行うことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6).				
履修上の注意	テキストの英文の意味を理解した上で繰り返し音読して、多くの英文を自分の力で再現できるように努力すること。しっかり復習をして、語彙・構文などの定着を図ること。TOEICにおいてより高い得点をとれるように、英語力を養う努力を欠かさないこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週	Lesson 7/ TOEIC演習6	論説文の展開, 語彙・構文など			
第17週	Lesson 7/ TOEIC Listening & Reading 11-12	論説文の展開, 語彙・構文など			
第18週	Lesson 7/ TOEIC Listening & Reading 13	論説文の展開, 語彙・構文など			
第19週	Lesson 8/ TOEIC演習7	紀行文の展開, 語彙・構文など			
第20週	Lesson 8/ TOEIC Listening & Reading 14-15	紀行文の展開, 語彙・構文など			
第21週	Lesson 8/ TOEIC Listening & Reading 16	紀行文の展開, 語彙・構文など			
第22週	後期中間試験/ TOEIC演習8				
第23週	Lesson 9 / TOEIC Listening & Reading 17-18	論説文の展開, 語彙・構文など			
第24週	Lesson 9/ TOEIC Listening & Reading 19	論説文の展開, 語彙・構文など			
第25週	Lesson 9/ TOEIC演習9	論説文の展開, 語彙・構文など			
第26週	Lesson 9/ TOEIC Listening & Reading 20	論説文の展開, 語彙・構文など			
第27週	Lesson 10/ TOEIC演習10	論説文の展開, 語彙・構文など			
第28週	Lesson 10/ TOEIC復習	論説文の展開, 語彙・構文など			
第29週	Lesson 10/ TOEIC問題演習	論説文の展開, 語彙・構文など			
第30週	Lesson 10/ TOEIC初中級コース修了テスト	論説文の展開, 語彙・構文など			
後期期末試験	実施する				
教科書	1. CROWN ENGLISH READING 霜崎實著, 三省堂 2. 速読英単語・必修編, 風早寛, 増進会出版社				
参考図書					
評価方法	定期試験を50%, TOEICの点数を30%, 小テスト・課題・授業中の作業等を20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
国語 Japanese	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 A	物・建: 高橋 宏宣 機: 高野 克宏 電: 高橋 圭介
授業概要	近代・現代の文章、古文、漢文を読み、文章の内容を正しく読み取る力を養う。また、その文章が書かれた時代状況や文化的背景も概観する。				
到達目標	①現代文においては、作品のテーマや作者の主張を理解できるようにする。 ②古文・漢文においては、正確な語彙・文法の知識を身につける。 ③作品を批評・鑑賞する能力を高める。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3).				
履修上の注意	1・2年で身につけた基礎的読解力を更に高めるために、自ら進んで読書する機会を増やすこと。また、機会あるごとに文章を書くように心がけ、表現力を身につけること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	現代文: 評論2	「ハイテク化と人間のゆくえ」			
第2週	現代文: 評論2	「ハイテク化と人間のゆくえ」			
第3週	現代文: 評論2	「ハイテク化と人間のゆくえ」			
第4週	現代文: 評論2	「ハイテク化と人間のゆくえ」			
第5週	古文: 随筆1	「家居のつきづきしく」(『徒然草』)			
第6週	古文: 随筆1	「家居のつきづきしく」(『徒然草』)			
第7週	前期中間試験				
第8週	古文: 随筆1	「世に従はん人は」(『徒然草』)			
第9週	古文: 随筆1	「世に従はん人は」(『徒然草』)			
第10週	現代文: 小説2	「山月記」			
第11週	現代文: 小説2	「山月記」			
第12週	現代文: 小説2	「山月記」			
第13週	現代文: 小説2	「山月記」			
第14週	漢文: 史記1	「鴻門之会」(『史記』)			
第15週	漢文: 史記1	「鴻門之会」(『史記』)			
前期末試験	実施する				
後期 第16週	漢文: 史記1	「鴻門之会」(『史記』)			
第17週	漢文: 史記1	「鴻門之会」(『史記』)			
第18週	漢文: 史記1	「鴻門之会」(『史記』)			
第19週	現代文: 評論3	「「である」と「すること」			
第20週	現代文: 評論3	「「である」と「すること」			
第21週	現代文: 評論3	「「である」と「すること」			
第22週	後期中間試験				
第23週	現代文: 評論3	「「である」と「すること」			
第24週	現代文: 評論3	「「である」と「すること」			
第25週	古文: 日記1	「門出」(『更級日記』)			
第26週	古文: 日記1	「門出」(『更級日記』)			
第27週	古文: 日記1	「門出」(『更級日記』)			
第28週	現代文: 評論2	「『生きる』ということ」			
第29週	現代文: 評論2	「『生きる』ということ」			
第30週	現代文: 評論2	「『生きる』ということ」			
後期末試験	実施する				
教科書	『精選現代文』『精選古典』、東京書籍、『国語必携パーフェクト演習』、尚文出版				
参考図書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典(各自で用意すること)				
評価方法	定期試験の成績を80%、小テストや課題の総点を20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学演習A Seminar on Humanities and Social Science A	3	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	吉村 忠晴
授業概要	地理学、経営工学、都市計画などで扱われる学際的なテーマであるネットワーク問題および立地問題の基礎を学習し、工学系の知識とビジネス系の知識の融合によるシナジー効果を獲得する。				
到達目標	①ネットワーク問題に関する理論・手法を理解し、演習問題を解くことができる。 ②立地問題に関する理論・手法を理解し、演習問題を解くことができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(C-1), (C-2), (D-1).				
履修上の注意	解を求めること以上に解に至るまでの考え方を重視すること。解に至るまでの正しい手順を身につけ、自分自身で解いていくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	距離の概念 ネットワーク問題(1) ネットワーク問題(2) ネットワーク問題(3) ネットワーク問題(4) ネットワーク問題(5) 商業立地問題(1) 商業立地問題(2) 商業立地問題(3) 公共施設立地問題(1) 公共施設立地問題(2) 公共施設立地問題(3) 公共施設立地問題(4) 工業立地問題 新しい地理情報技術 実施する	OR、距離の概念 ネットワークの構成要素、ネットワークのデザイン、グラフ理論 最短距離、近接性 最短経路問題、最小建設費問題 シュタイナー問題、輸送計画法 空間的相互作用、重力モデル 直線上での立地(ホテリングの立地モデル、均衡立地) 連続空間での立地(ボロノイ分割) ネットワーク空間での立地(圏域の決定) 直線上での立地(最適立地) 連続空間での立地(ミニサム問題、ミニマックス問題) ネットワーク空間での立地(メディアン問題、センター問題、最大カバー問題) 複教施設の立地(同時型と逐次型) ウェーバーの工業立地論 GISとは、GISの活用事例			
教科書	配布プリントを使用する。				
参考図書	1年次に使用した地図帳				
評価方法	定期試験の成績を75%、課題・小テストの成績を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人文・社会科学演習B Seminar on Humanities and Social Science B	3	1 (30)	必修	後期 週2時間 C	吉村 忠晴 川崎 俊郎
授業概要	GIS(地理情報システム)のしくみを学習し、GISソフトウェア(ArcView)の操作方法を習得する。				
到達目標	①GISのしくみを理解し、GISソフトウェアの基本的な操作ができる。 ②地理統計を分析し、GISを利用して統計地図を作成することができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(B-3), (C-1), (C-2), (D-2), (D-3), (F-3).				
履修上の注意	パソコン(Word, Excel, PowerPoint)の基本的な操作ができること。課題は指定された様式に則って期限厳守で提出すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	GISの基礎知識(1) GISの基礎知識(2) GISの基本操作(1) GISの基本操作(2) GISの基本操作(3) GISの基本操作(4) GISの基本操作(5) 地図情報の入手方法 統計データの入手方法 統計データの加工 位置情報の入手方法 属性データの編集 空間データの編集 総合演習(1) 総合演習(2) 実施しない	GISのしくみ、GISの基礎用語 ArcViewの構成 ArcCatalogの基本操作 ArcMapの基本操作 属性テーブルの操作 地図の表示 地図のレイアウト 地図サイトからのダウンロード 統計サイトからのダウンロード Excelによる統計分析 アドレスマッチング フィールド演算、テーブル結合とリレート 空間検索 統計地図の作成 統計地図の読解・考察			
教科書	配布プリントを使用する。				
参考図書					
評価方法	レポート・課題の成績を100%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
保健・体育 Health and Physical Education	3	2 (60)	必修	通年 週2時間 C	橋本 彰夫
授業概要	心身の総合的な発達を目指し、基礎的・基本的な運動技術を習得する。				
到達目標	①各種運動の実践を通して、運動技能を高め、強健な心身の発達を目指す。 ②公正、協力、責任等の態度を育てる。 ③生涯を通じて継続的に運動ができる能力を養う。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4).				
履修上の注意	基礎的な技術・体力トレーニングの際、事故のないよう、とくに授業前日の健康管理につとめること。また、健康上の問題については、担当教官に必ず事前にも申し出ておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	テニス	マナー、グリップ、構え方			
第2週	テニス	ストローク(フォア、バック)			
第3週	テニス	ボレー(フォア、バック)			
第4週	テニス	サービス、スマッシュ、ロブ			
第5週	テニス	ルール理解と簡易ゲーム			
第6週	テニス	ゲーム			
第7週	卓球	グリップと構え方、フォアハンド系			
第8週	卓球	バックハンド系、カット系			
第9週	卓球	サービス、サービスマッシュ、フットワーク			
第10週	卓球	ドライブ、ショート、スマッシュ			
第11週	水泳	水中運動の特徴			
第12週	水泳	クロール、平泳ぎ			
第13週	水泳	長距離泳、時間泳			
第14週	体力テスト	室内種目			
第15週	体力テスト	室内種目			
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	テニス	ゲーム			
第17週	テニス	ゲーム			
第18週	卓球	ゲーム			
第19週	卓球	ゲーム			
第20週	卓球	ゲーム			
第21週	卓球	ゲーム			
第22週	卓球	ゲーム			
第23週	バドミントン	グリップと構え方			
第24週	バドミントン	各種ストローク(フォア、バック)			
第25週	バドミントン	(リア、フロント)コートからの各種ショット			
第26週	バドミントン	サービスと簡易ゲーム			
第27週	バドミントン	ルール理解			
第28週	バドミントン	ゲーム			
第29週	バドミントン	ゲーム			
第30週	バドミントン	ゲーム			
後期期末試験	実施しない				
教科書					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポートを60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 I-1 English I-1	4	2 * (30)	必修	前期 週 2 時間 B	機・電: 鳥居 孝栄 物・建: 坂内昌徳
授業概要	文法の基礎力を固め、英文を正しく読み取る力を養う。また、TOEIC対策トレーニングを行う。				
到達目標	①文法の基礎力を身につけ、辞書を使って英文の大意が把握できること。 ②TOEICの基本問題に対応できること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6). JABEE基準I(1)との対応:(f).				
履修上の注意	文法の知識と辞書を使って、自分なりに英文の内容をとらえて授業に臨むこと。 自学自習の確認方法レポートを定期的に提出させる。				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
前期 第 1週 第 2週 第 3週 第 4週 第 5週 第 6週 第 7週 第 8週 第 9週 第 10週 第 11週 第 12週 第 13週 第 14週 第 15週 前期末試験	Lesson 1, TOEIC演習 Lesson 1, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 1, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 2, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 2, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 5, 文法小テスト, TOEIC演習 前期中間試験 Lesson 5, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 5, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 6, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 6, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 9, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 9, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 9, 文法小テスト, TOEIC演習 問題演習, 文法小テスト, TOEIC演習 実施する			学習の仕方、TOEICレベル診断テスト 文の種類、文型、such...as... 文型、時制、...of which... 時制、完了形、It is...that... 完了形、助動詞、同格のthat 助動詞、wonder+疑問詞 受動態、関係代名詞 what 不定詞、be to blame 不定詞、as long as... 動名詞、関係副詞 分詞、分数表現 比較、those 比較、関係詞、so...that... 前期の総復習	
教科書	Imagining Tomorrow、Bruce Allen・宍戸真、成美堂 Training Book、桐原書店編集部、桐原書店			総合英語 Forest Extensive English Grammar	
参考図書	高校総合英語 Forest、石黒昭博、桐原書店(1年次購入)				
評価方法	定期試験70%、小テスト15%、課題15%で評価する。				

(注) *印は学修単位 (高等専門学校設置基準17条第4項に基づく単位)

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 I-2 English I-2	4	2 * (30)	必修	後期 週 2 時間 B	機・電: 鳥居 孝栄 物・建: 坂内昌徳
授業概要	文法の基礎力を固め、英文を正しく読み取る力を養う。また、TOEIC対策トレーニングを行う。				
到達目標	①文法の基礎力を身につけ、辞書を使って英文の大意が把握できること。 ②TOEICの基本問題に対応できること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6). JABEE基準1(1)との対応:(f).				
履修上の注意	文法の知識と辞書を使って、自分なりに英文の内容をとらえて授業に臨むこと。 自学自習の確認方法-レポートを定期的に提出させる。				
授業計画	授業項目			理解すべき内容	
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	Lesson 10, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 10, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 13, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 13, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 13, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 14, 文法小テスト, TOEIC演習 後期中間試験 Lesson 14, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 14, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 17, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 17, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 18, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 18, 文法小テスト, TOEIC演習 Lesson 18, 文法小テスト, TOEIC演習 問題演習, TOEIC演習 実施する			関係詞、as S+V...,S+V... 関係詞、仮定法、not only...but also... 仮定法、help...(to) 不定詞 疑問詞、否定、as...as... 否定、話法、分詞構文 名詞構文、強調、be composed of... 省略、名詞、remind...that... 冠詞、代名詞、too...to... 代名詞、形容詞、...rather than... 副詞、前置詞、...as well as... 前置詞、接続詞、if...be to ... 接続詞、focus on... 文法総復習、...so that... 後期の総復習	
教科書	Imagining Tomorrow, Bruce Allen・穴戸真、成美堂 Training Book、桐原書店編集部、桐原書店			総合英語 Forest Extensive English Grammar	
参考図書	高校総合英語 Forest、石黒昭博、桐原書店(1年次購入)				
評価方法	定期試験50%、TOEIC-IPテスト30%、小テスト10%、課題10%で評価する。				

(注) *印は学修単位 (高等専門学校設置基準17条第4項に基づく単位)

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学 Japanese Literature	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	高野 克宏
授業概要	『方丈記』の読解・解釈を通して豊かな言語感覚を養うとともに、先人たちの教養と人生観に接することによって今日の意味を考える。				
到達目標	①古文を読解・解釈する基礎的力を身につけるとともに、理解した内容を文章化して表現することができるようになることを目標とする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	『方丈記』の読解・解釈を通して鴨長明の世界観や人生観を、時代背景と関連付けながら理解する。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	『方丈記』を取り巻く文学状況1 『方丈記』を取り巻く文学状況2 『方丈記』解題1 『方丈記』解題2 鴨長明の人生1 鴨長明の人生2 後期中間試験 『方丈記』本文講読1 『方丈記』本文講読2 『方丈記』本文講読3 『方丈記』本文講読4 『方丈記』本文講読5 『方丈記』本文講読6 『方丈記』本文講読7 『方丈記』本文講読8 実施する		文学史における日記・物語・随筆の位置づけ 代表的随筆『枕草子』『徒然草』について 内容概観 『池亭記』について・題名について 人生の前半と蹉跎 河合社禰宜職獲得の失敗・隠遁生活 「ゆく河の流れは絶えずして・・・」 「予もの心を知れりしより・・・」 「又治承四年卯月のころ・・・」 「又治承四年水無月の比・・・」 「又養和のころとか・・・」1 「又養和のころとか・・・」2 「おほかた、この所に住みはじめし時は・・・」 「抑一期の月かげ傾きて・・・」		
教科書	岩波文庫「方丈記」市古貞次校注 岩波書店				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績100%				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学 Japanese Literature	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	高橋 宏宣
授業概要	太宰治の生涯、太宰治の生きた時代を概説する。その後、作品解釈の方法を講じ、テキストに収められた作品を解釈する。				
到達目標	①作品を繰り返し読み、作品に現れるあるパターン、あるいは、敢えて書かれていない空白部分といった、作品の内的構造を把握できるようにする。 ②①で把握した内容を、論理的に記述できるようにする。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	テキスト所収以外の作品も読んでみる。気に入った作品は繰り返し読むことが望ましい。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	太宰治概説(1) 太宰治概説(2) 太宰治概説(3) 作品解釈の方法 「走れメロス」 「走れメロス」 後期中間試験 「富嶽百景」 「富嶽百景」 「富嶽百景」 「東京八景」 「東京八景」 「東京八景」 「駈込み訴え」 「駈込み訴え」 まとめ 実施する	人と作品 太宰治の生涯 太宰の生きた時代 作家論・作品論など 作中人物の形象化について メロスはなぜ勇者になりえたのか 「富士」の形象化について 対比のパターンについて 「俗」なるものから「聖」なるものへ 私小説的方法について 過去を記述する方法について 作中人物の形象化について 語りの方 太宰文学の特質			
教科書	『走れメロス』、太宰治、新潮文庫				
参考図書	『太宰治全集』、筑摩書房				
評価方法	定期試験の成績100%で評価する。				

授業科目名		学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学 Japanese Literature		4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	高橋 圭介
授業概要	1.日本語をさまざまな角度から観察し、その特徴を探る。 2.日本語と多元ごとを比較・対照することにより、それらの共通点・相違点を探る。					
到達目標	①言葉への興味・関心を高める。 ②普段意識していない言語現象を客観的に分析する力を身に付ける。					
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-1), (F-2). JABEE基準1(i)との対応:(f).					
履修上の注意	提示される概念等を正確に覚える必要はない。それよりも、普段感じている(言語に関する)素朴な疑問について、積極的に考察する姿勢を重視する。					
授業計画	授業項目	理解すべき内容				
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	イントロダクション 日本語の音声 日本語の文字・表記1 日本語の文字・表記2 形態論 語の意味1 後期中間試験 語の意味2 語の意味3 日本語の文法1 日本語の文法2 語用論 社会言語学1 社会言語学2 日本語の歴史 実施する	言語学の目的、言語学の諸分野、言語学の歴史 母音、子音、アクセントパターン 漢字の特徴、熟語の構成、送り仮名の付け方 現代仮名遣い、外来語の表記 形態素、活用、語形成 辞書の種類・項目、言葉の意味とは 類義語、反義語 多義語、慣用句 文の構造、格助詞と構文、受身・使役 時間を表す表現、複文、待遇表現 会話の原則、その他 社会方言(男女差、年齢差) 地域方言、言葉の推移 音韻・文学史、文法の変化				
教科書	ハンドアウトを配布する。					
参考図書	益岡隆志『24週日本語文法ツアー』(くろしお出版)、工藤浩他『日本語要説』(ひつじ書房)、町田健・初山洋介『よくわかる言語学入門』(バベルプレス)					
評価方法	定期試験の成績100%					

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学 Japanese Literature	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	中野 弘子
授業概要	近世の浮世草子として比類ない、井原西鶴の文学を通し、ままたらぬ浮世に生きた人間像を読みとる。				
到達目標	①実話を題材に描かれた西鶴の『好色五人女』を読み、恋愛を生命と考えた五人女の官能的な情念を読みとる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	西鶴の文体に馴れ親しむためにも音読を大切にする。また、江戸時代特有の言葉を辞書などで調べ、考察する。(例:大節季、虫出しの神鳴、駒引銭など。)				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	導入、西鶴と浮世草子 巻の1、お夏清十郎 巻の1、お夏清十郎 巻の2、樽屋おせん 巻の2、樽屋おせん 巻の3、暦屋おせん 後期中間試験 巻の3、暦屋おせん 巻の4、八百屋お七 巻の4、八百屋お七 巻の4、八百屋お七 巻の4、八百屋お七 巻の5、お万源五兵衛 巻の5、お万源五兵衛 巻の5、お万源五兵衛 実施する	西鶴像と時代背景の考察 恋は闇夜を昼の国… 命のうちの七百両のかね 恋に涙輪の井戸替え… 木屑の杉ようじ一寸先の命 姿の関守… 身の上の立ち聞 大節季はおもい闇… ふんどしかきたる君様… 雪の花の情け宿… 様子あつてのにわか坊主 連吹きの笛竹息の哀れや… 衆道は両手に散る花… 金銀も持ち余って迷惑。			
教科書	角川文庫ソフィア 暲峻康隆訳注『好色五人女』				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績100%				

授業科目名		学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
文学 Japanese Literature		4	1 (30)	必修	後期 週2時間 A	蛭田 徹
授業概要	『伊勢物語』の講読・解釈を通して、「色好み」の世界に生きる主人公「昔男」のひたむきな愛情の教々と優雅で洗練された<みやび>を理解する。					
到達目標	①それぞれの章段の人物の心理と行動とが、本文叙述とその集約としての和歌とによって、豊かに表現されていることを理解し、 ②併せて「歌物語」の特質と和歌の役割を理解する。					
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).					
履修上の注意	記紀歌謡から現代短歌まで受け継がれている和歌は、平安時代の貴族の間では社交上欠かせない教養のひとつであったことを理解する。					
授業計画	授業項目	理解すべき内容				
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	平安時代の文学について(1) 平安時代の文学について(2) 『伊勢物語』本文講読1 『伊勢物語』本文講読2 『伊勢物語』本文講読3 『伊勢物語』本文講読4 後期中間試験 『伊勢物語』本文講読5 『伊勢物語』本文講読6 『伊勢物語』本文講読7 『伊勢物語』本文講読8 『伊勢物語』本文講読9 『伊勢物語』本文講読10 『伊勢物語』本文講読11 『伊勢物語』本文講読12 実施する	物語の系譜を中心に 物語の系譜を中心に 一、二段 三、四、五段 十、十二、十三段 十六、十八段 二十一段 二十四段 四十五段 六十五段(1) 六十五段(2) 八十二段(1) 八十二段(2) 百七段、百二十五段				
教科書	岩波文庫『伊勢物語』大津有一校注、岩波書店					
参考図書						
評価方法	定期試験の成績100%					

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
社会科学特講 I Social Science Seminar I	4	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	木原 淳
授業概要	現代日本法の基盤である近代市民法の体系と思考について、私法分野を中心に説明する。				
到達目標	①現代日本の司法制度に関わる基本的知識を習得する。 ②ルールにしたがって問題解決を図る思考法を身につけること。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-3), (A-5). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	条文を必ず参照すること。制度や論点の、法典上の位置づけを理解すること。自学自習用の課題プリントを提出すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期期末試験	法の概念 法の適用と解釈 市民法の体系 近代市民法の諸原則 権利の主体(1) 権利の主体(2) 権利の主体(3) 権利の客体 法律行為(1) 法律行為(2) 法律行為(3) 債務不履行 不法行為責任(1) 不法行為(2) 刑事責任の根拠 実施する	法概念の多義性と普遍性 紛争の解決 解釈の準則 「市民社会」の構想と市民法の基本構造 近代私法の基本原理とその修正 公法と私法 権利能力の平等と行為能力の制限 法人の役割と分類 会社制度の分類 株式会社制度の意義と構造 物権と債権 法律行為総論 意思表示 心裡留保 虚偽表示 錯誤 詐欺 債務不履行の態様 効果 不法行為法の発展と概要 不法行為法の課題 自由意思論と決定論			
教科書	五十嵐清『私法入門』(改訂版)、有斐閣。;コンサイス判例六法(2007年版)、三省堂。				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、課題を25%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
社会科学特講Ⅱ Social Science Seminar Ⅱ	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 B	吉村 忠晴
授業概要	経済学的視点から、企業経営上の課題を考えるために必要な基本的知識を学習するとともに、企業活動の考察を通じて、経済や社会の動向を把握する。				
到達目標	①企業の利潤最大化行動を理解し、グラフと計算からその解を求めることができる。 ②企業経営における管理・組織・戦略に関する理論を理解し、説明できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(C-1). (C-3). (C-4). (C-6). JABEE基準1(1)との対応:(d)-(2)-d). (h).				
履修上の注意	経済学の学習には、数学に関する基本的知識と計算能力およびグラフの作成・読解力が不可欠となるので、各自復習しておくこと。また、新聞等で常に最新のビジネス動向を把握しておくこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	経済学の課題 市場メカニズム(1) 市場メカニズム(2) 企業行動の理論(1) 企業行動の理論(2) 企業行動の理論(3) 企業行動の理論(4) 経営管理論(1) 経営管理論(2) 経営組織論(1) 経営組織論(2) 経営戦略論(1) 経営戦略論(2) 経営戦略論(3) 現代経営の課題 実施する	経済学の課題、経済主体と経済活動 市場構造、完全競争市場、需要曲線、供給曲線 市場均衡、需要曲線と供給曲線のシフト 生産要素、生産関数 最適投入量、費用関数の導出 短期費用関数、費用の概念、収入関数、最適生産量 独占市場、独占均衡 株式会社、所有と経営の分離、伝統的管理法 人間関係論、モチベーション理論、近代管理論 組織の一般原則、組織の基本構造 職能部門制組織、事業部制組織 企業環境、経営戦略の階層、SWOT分析 チャンドラーの経営戦略論、アンゾフの経営戦略論 多角化戦略、PPM、ポーターの競争戦略論 エージェンシー理論、コーポレート・ガバナンス、企業の社会的責任			
教科書	配布プリントを使用する。				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を75%、課題・小テストの成績を25%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
体育 Physical Education	4	1 (30)	必修	後期 週2時間 C	秋山 秀博 根本昌樹, 五十嵐幸一
授業概要	種目の特性を理解し、互いに協力して安全に練習やゲームができるようにする。				
到達目標	①種目の特性を理解し、高度な運動技能を習得する。 ②ゲームの運営及び審判法を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1). (A-2). (A-3). (A-4).				
履修上の注意	現代生活における余暇を自己開発の視点から、とくに生涯スポーツの現代的意義について問題意識を深めよう。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
後期 第16週 第17週 第18週 第19週 第20週 第21週 第22週 第23週 第24週 第25週 第26週 第27週 第28週 第29週 第30週 後期期末試験	各種運動 体力テスト 体力テスト テニス テニス テニス テニス ゴルフ ゴルフ ゴルフ ゴルフ ソフトボール ソフトボール ソフトボール ソフトボール 実施しない	体ほぐし 屋内種目 屋外種目 ショートストローク(フォアハンド・バックハンド)、サーブ ストローク(フォアハンド・バックハンド)、ボレー スマッシュ、パッシング、ロブ、簡易ゲーム リーグ戦(ダブルス) グリップの方法、スウィング練習(プラスチックボール) グリップの方法、スウィング練習(実球) スウィング練習(実球)、ショートアイアン ショートアイアンによるショートアプローチ キャッチボール、トスパッティング 守備練習、フリーバッティング ルールの理解、ゲーム ゲーム			
教科書					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポートを60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 English	5	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	機・建 西山 公紀
授業概要	様々な話題を取り上げた英文にふれ、語彙力、読解力を養う。またCALLによるTOEIC演習を行い、スコアの向上をめざす。				
到達目標	①テキストが伝えようとする内容を早く正確に理解できる。 ②テキストに使用されている語彙・文法・構文を正確に理解できる。 ③TOEICにおいて望まれているスコアを取得できる。 ④習得した語彙・表現を用いて簡単な英語表現ができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6). JABEE基準1(1)との対応:(f).				
履修上の注意	辞書を用いて内容を自分なりに把握して授業に臨むこと。 語彙・表現の定着を図るため反復練習を行うこと。 TOEICスコアの向上をめざし自学自習を心がけること。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Chap. 1 / TOEIC演習		What Is Digital Cash?		
第2週	Chap. 1 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening練習		
第3週	Chap. 2 / TOEIC演習		What Is Inflation?		
第4週	Chap. 2 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第5週	Chap. 3 / TOEIC演習		What Is Unemployment?		
第6週	Chap. 3 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第7週	前期中間試験				
第8週	Chap. 4 / TOEIC演習		Consumption and Saving		
第9週	Chap. 4 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第10週	Chap. 5 / TOEIC演習		What Is Investment?		
第11週	Chap. 5 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第12週	Chap. 6 / TOEIC演習		What Is the Bank of Japan?		
第13週	Chap. 6 / TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第14週	TOEIC演習		文法事項の確認 / Listening 練習		
第15週	まとめ				
前期期末試験	実施する				
教科書	Studying the Japanese and World Economies、栗原裕、朝日出版社				
参考図書					
評価方法	定期試験を50%、TOEICを30%、小テスト・課題等を20%として評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 English	5	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	電気 中山 悟祝
授業概要	テキストの購読と、LL教室を利用したTOEICテスト対策トレーニングを平行して行う。				
到達目標	①物語文の内容を理解できる。 ②テキストに使用されている語彙や構文が理解できる。 ③語彙・語法・文法力、およびリスニング力を強化し、TOEICの得点を向上させることができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6). JABEE基準1(1)との対応:(0).				
履修上の注意	テキストの英文にあらかじめ目を通して授業に臨み、分からない部分はしっかり解決すること。語彙・語法・文法などの定着を図ること。TOEICにおいてより高い得点をとれるように、英語力を養う努力を欠かさないこと。				
授業計画	授業項目		理解すべき内容		
前期 第1週	Introduction		学習の仕方		
第2週	Unit 1 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第3週	Unit 2 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第4週	Unit 3 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第5週	Unit 4 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第6週	Review 1 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第7週	前期中間試験				
第8週	Unit 5 / Unit 6		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第9週	Unit 7 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第10週	Unit 8 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第11週	Review 2 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第12週	Unit 9 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第13週	Unit 10 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第14週	Unit 11 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
第15週	Unit 12 / 文法・語法の強化		物語の内容と語彙 / 文法・語法の確認		
前期期末試験	実施する				
教科書	1. To Be Continued ... Let's Solve a Mystery! 上村淳子他編著, 朝日出版社 Course in TOEIC TEST GRAMMAR, 小池直己著, 南雲堂				2. A Shorter
参考図書					
評価方法	定期試験を50%, TOEICの点数を30%, 予習状況・小テスト・課題・LL教室での作業等を20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英語 English	5	1 (30)	必修	前期 週2時間 B	物質 宮沢 泰彦
授業概要	日本人学生がアメリカ留学に際して出会うと予想される様々な場面について、テキスト・音声・映像を用いて理解するとともに、自然な速度で話される英語によるコミュニケーションを疑似体験する。TOEIC対策演習も併行して実施する。				
到達目標	1 自然な速度で話される英語の音声特徴に慣れて概要が聞き取れる。 2 場面に応じて類推力を働かせ、メッセージの意図を理解して対応できる。 3 テキストに現れた語彙・文法・構文を自然なスピードで理解でき、自らも使用できる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). (F-6). JABEE基準1(1)との対応:(f).				
履修上の注意	事前に予習をして各課の文字情報はすべて把握した上で、授業では音声に集中すること。復習として付録のDVDを自宅で繰り返し視聴し場面展開とせりふを覚えてしまうこと。各種メディアを利用して生の英語音声に少しでも多く接し、放課後にはLL教室でTOEIC対策演習を繰り返すこと。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	概要説明、TOEIC演習	授業展開と予・復習の仕方、TOEIC演習ソフト使用法			
第2週	Unit1/TOEIC演習	I'm Looking for Old Main Hall 道順を説明する、オリエンテーション			
第3週	Unit2/TOEIC演習	I Have a 10:30 Appointment 相談する、助言を求める/与える			
第4週	Unit3/TOEIC演習	Are YOU Looking for a Place to Stay? アパートの探し方、窓口での対応			
第5週	Unit4/TOEIC演習	I'll Be Glad to Room with You Guys. ルーム・シェアについて			
第6週	Unit5/TOEIC演習	The Experience Is Really Important. 将来の展望、クラブ活動			
第7週	前期中間試験				
第8週	Unit6/TOEIC演習	I'll Get Right on It. インターンシップ、アルバイト			
第9週	Unit7/TOEIC演習	Just Tell Me. 意向を尋ねる、対立を回避する			
第10週	Unit8/TOEIC演習	Don't Worry about It. 電話での対応、伝言の伝え方			
第11週	Unit9/TOEIC演習	Come Here and Give Me a Hug. 挨拶のいろいろ、老後の暮らし			
第12週	Unit10/TOEIC演習	I Love You Mom. 招待を受ける/断る			
第13週	Unit11/TOEIC演習	I Deserve a Better Grade. クレームをつける。			
第14週	Unit12/TOEIC演習	Any Other Questions? 効果的な学習法			
第15週	まとめ				
前期期末試験	実施する				
教科書	Campus Encounters、大八木廣人ほか、Macmillan Language House				
参考図書					
評価方法	定期試験50%、TOEICテスト30%、小テスト・課題等20%として総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
人間科学特講 Human Science Seminar	5	2 (60)	必修	通年 週2時間 B	川崎 俊郎 笠井 哲
授業概要	前期では、明治以降の日本について産業・経済・技術の分野から概観する。後期は、科学技術史と技術者倫理(含ビジネス倫理)の基本を学び、事例研究で倫理的判断を学習する。				
到達目標	①資本主義が日本に与えた影響を理解できる。 ②資本主義社会に対応した日本企業の発達史を理解できる。 ③近代以降の日本における技術受容と技術開発の概要を理解する。 ④技術者倫理(含ビジネス倫理)の基礎を理解するとともに、実事例のグループ討議等の模擬体験学習を通して、倫理的な判断力を身につけることができる。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4), (A-5). JABEE基準1(i)との対応:(a), (b)				
履修上の注意	授業は配布プリントを中心にすすめるので必ずファイルすること。課題・レポートは期限や様式を守ること。グループ討議は、いわばロールプレイであるが、本当に自分の問題と考えて参加すること。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	近代経済成長と日本	経済成長、資本主義の特質、江戸時代の経済			
第2週	開港と維新	開港の影響、明治政府の国家観、諸外国の見た日本			
第3週	殖産興業	明治政府の産業政策、お雇い外国人の意義			
第4週	産業化の時代1	日本の産業革命、明治期の企業			
第5週	産業化の時代2	産業革命と貿易、外資の役割、日清・日露戦争			
第6週	産業化の時代3	産業革命期の技術受容、明治期の技術者教育			
第7週	二重構造	農工間格差、企業間格差、地域間格差			
第8週	計画化と民主化1	昭和恐慌、統制経済、第二次世界大戦			
第9週	計画化と民主化2	経済民主化、戦後復興			
第10週	高度経済成長1	高度成長の特質、産業構造、国土開発			
第11週	高度経済成長2	企業投資の効果、家計消費の効果、政府の役割			
第12週	高度経済成長3	公害問題、高度経済成長終了の要因			
第13週	日本企業の軌跡1	資本規模と特徴、経営の特徴、組織の特徴			
第14週	日本企業の軌跡2	日本企業の技術受容、日本企業の技術革新			
第15週	日本経済を見る眼	前期授業の総括			
前期末試験	実施する				
後期 第16週	17世紀科学革命とは何か	近代科学の誕生、科学革命の背景と意義			
第17週	ベーコンとデカルト	近代哲学と科学技術の成立			
第18週	産業革命と資本主義社会の形成	近代職業倫理と資本主義の精神			
第19週	日本のものづくりと職人の技	技術と技能、技術の伝来			
第20週	二度の世界大戦と科学技術	第一次大戦と化学兵器、第二次大戦と原子爆弾			
第21週	発達した資本主義と発展途上国	人口の爆発、南北格差			
第22週	米ソ冷戦時代の科学技術	核とコンピュータの開発、日本の高度成長と技術			
第23週	豊かな生活と環境への負荷	自然権思想の拡大、宇宙船地球号			
第24週	新しい倫理の課題	ビジネス倫理と技術者倫理			
第25週	何のための、誰のための科学技術か	地球全体のための科学技術			
第26週	倫理綱領ないし倫理規定	倫理綱領の意義と規定内容			
第27週	テクノロジーアセスメント	テクノロジーアセスメントとリスクアセスメント			
第28週	内部告発と説明責任に関する事例研究	組織における技術者、公衆に対する責任			
第29週	安全性とコスト、PL法に関する事例研究	トレードオフ、法的・倫理的責任			
第30週	まとめ	専門職業人の使命			
後期末試験	実施する				
教科書	後期は、「技術者倫理」松島隆裕編、学術図書出版社を使用するおよび新保哲編「日本文化の人間学」北樹出版を使用する。				
参考図書	前期は「高等学校 日本史B」、伊藤純郎ほか、清水書院及び「日本経済史 全8巻」、梅村又次ほか編、岩波書店。 後期は新聞、ビデオを使用する。				
評価方法	定期試験75%、課題およびレポート25%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
体育 Physical Education	5	1 (30)	必修	前期 週2時間 C	秋山 秀博 根本昌樹, 五十嵐幸一
授業概要	種目の特性を生かし、より高度な練習やゲームができるようにする。				
到達目標	①各自の特性を生かし、社会人として役立つ専門知識と高度な実践的運動技術を習得する。 ②生涯を通じて継続的に運動を実践できる能力を身につける。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-1), (A-2), (A-3), (A-4).				
履修上の注意	現代生活における余暇を自己開発の視点から捉えるとともに、生涯スポーツの現代的意義についての問題意識を深めよう。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週 前期末試験	オリエンテーション 各班ごとの体育活動 各班ごとの体育活動 各班ごとの体育活動 各班ごとの体育活動 各班ごとの体育活動 各班ごとの体育活動 各班ごとの体育活動 各班ごとの体育活動 各班ごとの体育活動 各班ごとの体育活動 水泳 水泳 体力テスト 体力テスト 実施しない	テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) テニス班(雨:卓球)、ゴルフ班(雨:バスケットボール)、ソフトボール(雨:バドミントン) クロール・平泳ぎ 長距離泳・時間泳 屋内種目 屋外種目			
教科書					
参考図書	Active Sports 総合版、大修館				
評価方法	実技評価、レポートを60%、活動記録、課題を40%で総合的に評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
英会話Ⅱ English Conversation II	5	2 (60)	選択	通年 週2時間 C	坂内 キヤシー
授業概要	This course will use English to examine a variety of everyday situations. The focus of the class will be on spoken; written; and listening exercises.				
到達目標	①Acquire the ability to play an active role in English conversations thereby keeping the conversation going. ②Gain fluency in expressing opinions on various subjects, with supporting reasons. ③Develop their ability to make more substantial presentations in English. ④Improve their skill at listening for both context and specific information, both implicit and explicit, from longer texts.				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(F-4). (F-5). JABEE基準1(1)との対応:(f).				
履修上の注意	Students are expected to actively participate in a variety of activities in class. 4年次に第2外国語Ⅰを受講しなかった者のみを対象とする。TOEICのスコアに基づく受講制限がある。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	Orientation	Classroom English required to conduct classes predominantly in English			
第2週	Meeting People 1	Appropriate Greetings and Responses; Catching Up: Recent Events			
第3週	Meeting People 2	Uses of the Present Perfect			
第4週	Meeting People 3	Catching Up: Shared Information, Use of the Past Perfect Continuous			
第5週	Meeting People 4	Topic Development: Reactions, Comments & Follow Up Questions			
第6週	Meeting People 5	Signalling the End and Ending Conversations			
第7週	Meeting People 6	Use of Pronouns; Pronunciation & Listening Exercises			
第8週	Meeting People 7	Role Play Practice			
第9週	Meeting People 8	Role Play Presentations			
第10週	Meeting People 9	Written & Oral Assessment			
第11週	Arranging to Go Out 1	Telephone English			
第12週	Arranging to Go Out 2	Making, Accepting & Refusing Invitations			
第13週	Arranging to Go Out 3	Planning Details: Making Requests & Suggestions			
第14週	Arranging to Go Out 4	Asking for and Giving Directions: Imperatives			
第15週	Arranging to Go Out 5	Confirming & Clarifying Directions			
前期期末試験	実施しない				
後期 第16週	Arranging to Go Out 6	Discussing Summer Vacation Activities; Review			
第17週	Arranging to Go Out 7	Noun Groups & Listening Activities			
第18週	Arranging to Go Out 8	Role Play Practice			
第19週	Arranging to Go Out 9	Role Play Presentations			
第20週	Arranging to Go Out 10	Written and Oral Assessment			
第21週	Giving Opinions 1	Asking for Advice, Making Suggestions and Giving Supporting Points			
第22週	Giving Opinions 2	Accepting and Refusing Suggestions			
第23週	Giving Opinions 3	Sharing Experiences: Asking for and Giving Summaries of Experiences			
第24週	Giving Opinions 4	Sharing Experiences: Asking for and Giving Opinions Based on Experience			
第25週	Giving Opinions 5	Reaching Agreement: Exchanging opinions and giving support			
第26週	Giving Opinions 6	Reaching Agreement: Stating Preferences (Use of Comparatives)			
第27週	Giving Opinions 7	Role Play Practice			
第28週	Giving Opinions 8	Role Play Presentations			
第29週	Giving Opinions 9	Written and Oral Assessment			
第30週	Free Discussion	Discussing Plans, Hopes and Dreams for the Future			
後期期末試験	実施しない				
教科書	Encounters Book 2, English Edition. Nan'un-do. Michael P. Critchley et al. ISBN4-523-174065-2 C0082				
参考図書					
評価方法	平素の成績(小テスト、口頭テスト、課題等)を100%で評価する。				

授業科目名	学年	単位(授業時間)	必・選	授業形態	担当教員
第2外国語Ⅱ Second Foreign LanguageⅡ	5	2 (60)	選択	通年 週2時間 B	田村 立波
授業概要	既習得の基礎知識を活かしながら、聴く・話す・書くといった総合的な練習を行う。 中国に関する多面的な情報を適宜に取り入れる。				
到達目標	①ピンインを習熟する。 ②単語及び基本構文の充実を通じて、コミュニケーションに必要な基礎的語学力を養う。 ③中国の文化や社会事情に対する理解を深める。				
教育目標との対応	福島高専の教育目標との対応:(A-3). JABEE基準1(1)との対応:(a).				
履修上の注意	大きな声で発音の練習をしよう。教科書に付いているCDを活かして復習すること。 積極的な授業参加を期待する。4年次に第2外国語Ⅰを受講した者のみが受講できる。				
授業計画	授業項目	理解すべき内容			
前期 第1週	前学年の続き。第14課	処置の表現と受身・使役の表現			
第2週	第14課 辞書を貸していませんか	処置の表現と受身・使役の表現			
第3週	第15課 雨が降ってきました	存現文と助動詞「会」の用法			
第4週	第15課 雨が降ってきました	存現文と助動詞「会」の用法			
第5週	新教科書 第1課 中国に行こう	主述述語文			
第6週	第1課 中国に行こう	主述述語文			
第7週	第2課 ウーロン茶を飲もう	原因の表現			
第8週	第2課 ウーロン茶を飲もう	原因の表現			
第9週	第3課 友達をつくろう	連動文			
第10週	第3課 友達をつくろう	連動文			
第11週	第4課 長城に登ろう	「了」の3つの用法			
第12週	第4課 長城に登ろう	「了」の3つの用法			
第13週	第5課 漢字を覚えよう	結果補語と仮定の表現			
第14週	第5課 漢字を覚えよう	結果補語と仮定の表現			
第15週	前期のまとめ	既習内容の復習			
前期末試験	実施する				
後期 第16週	第6課 街を歩こう	存現文と「-又-」の表現			
第17週	第6課 街を歩こう	存現文と「又-又-」の表現			
第18週	第7課 中国映画を見よう	持続の表現と部分否定			
第19週	第7課 中国映画を見よう	持続の表現と部分否定			
第20週	第8課 シルクを買おう	方向補語と使役の表現			
第21週	第8課 シルクを買おう	方向補語と使役の表現			
第22週	第9課 中華を食べよう	可能補語と強調の表現			
第23週	第9課 中華を食べよう	可能補語と強調の表現			
第24週	第10課 太極拳を習おう	目的の表現と推測の表現			
第25週	第10課 太極拳を習おう	目的の表現と推測の表現			
第26週	第11課 水滸伝を楽しもう	結果補語と受身の表現			
第27週	第11課 水滸伝を楽しもう	結果補語と受身の表現			
第28週	第12課 春節を過ごそう	処置の表現と「快-了」の用法			
第29週	第12課 春節を過ごそう	処置の表現と「快-了」の用法			
第30週	後期のまとめ	既習内容の復習			
後期末試験	実施する				
教科書	竹島 金吾 監修「新版 中国語さらなる一歩」白水社 相原 茂 編著「はじめての 中国語学習辞典」朝日出版社 2002年2月10日				
参考図書					
評価方法	定期試験の成績を80%、小テストと課題を20%で総合的に評価する。				